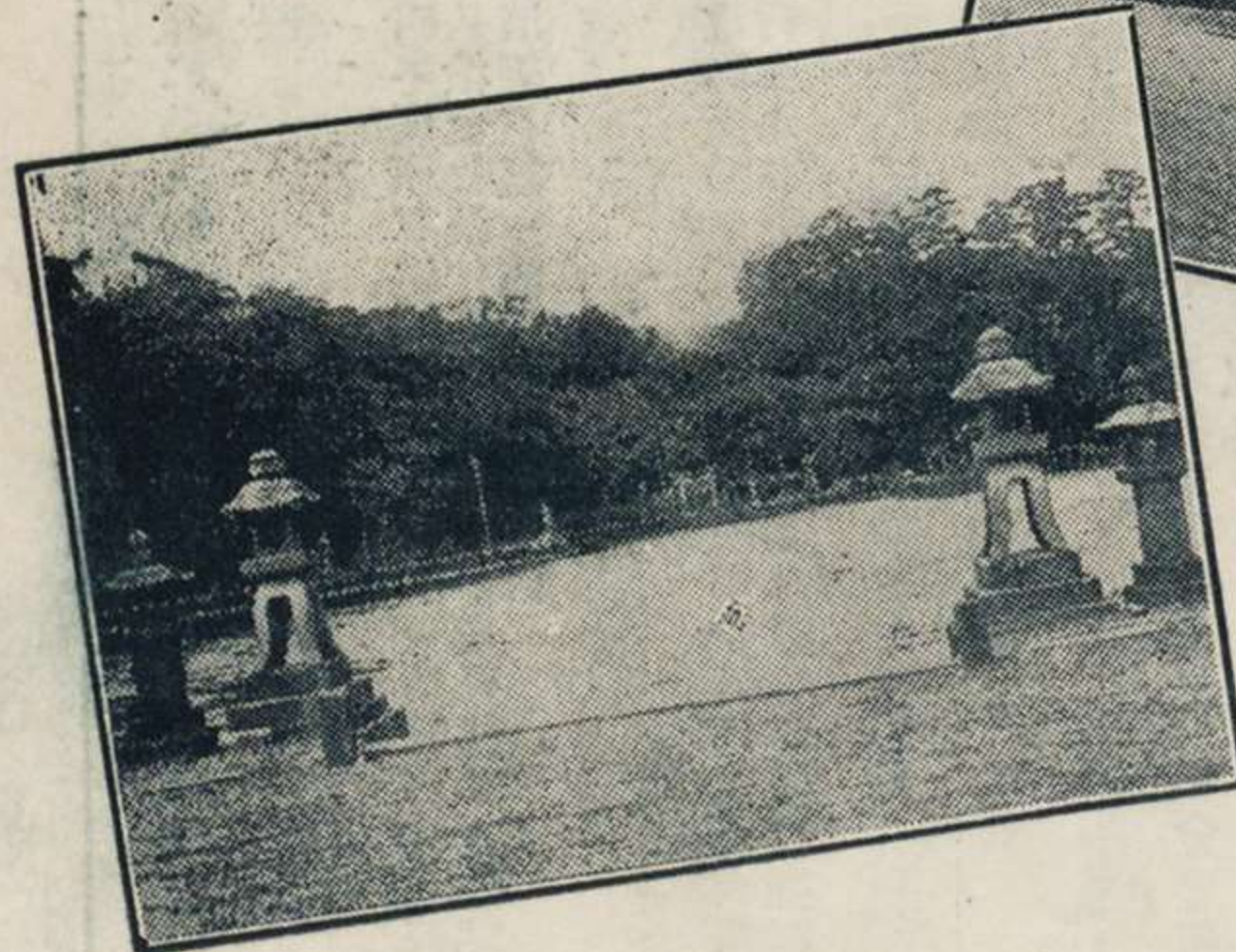
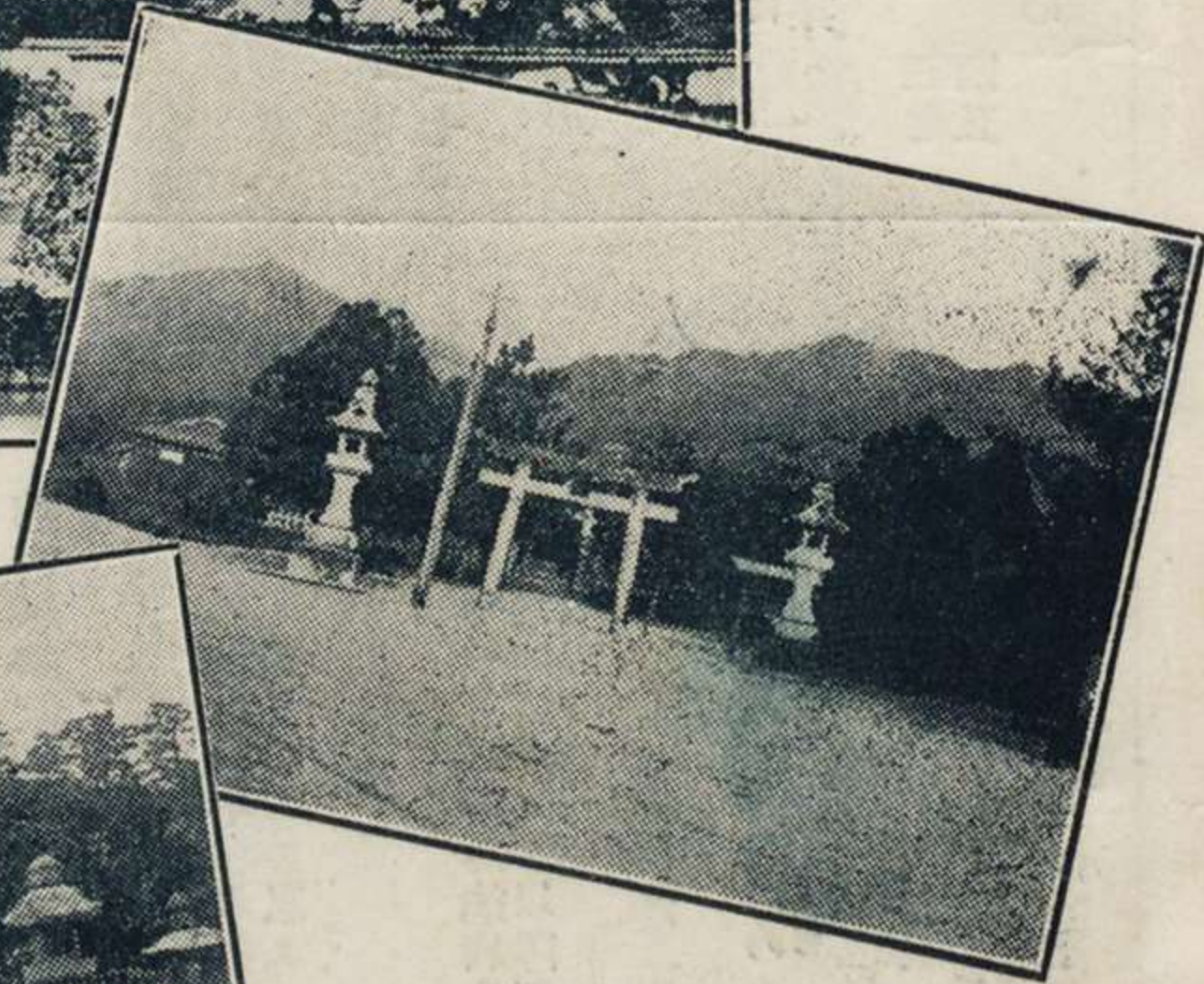


附錄  
並町現場  
地圖  
壹葉

# 報月萩

號八拾第



號月九年四和昭



行發町萩縣口山

目次

庶般行政

◆財政緊縮に關する山口縣訓令◆第七回町會◆八月に於ける本町各種委員會の開催◆裁町令の叙任及辭令◆八月の住吉神社への奉納◆明神池畔に建札◆第三部の員辭令◆傳達並行式◆昭和五年度陪審員割當數◆昭和三十八年秋の特別歡迎會◆田中前首相並久原前逓相歸京◆田中久原前兩相特別歡迎會

表

◆飾板下賜

學事

◆神宮奉頌唱歌歌詞◆小學校教員異動◆游泳講習會終了◆夏期林間學校閉鎖◆縣設教員夏期講習會◆玉江浦青年團支部總會◆椿東處女會月例會◆社會教育講習會◆明倫校來校視察者◆文部省主催青年訓練所指導員講習會概況

産業

◆農業調査員任命◆副業品販路地状況◆船舶職員養成講習會◆臨時船舶職員試驗◆縣設木製品骨製講習會◆各開港別八月中秋輸出入貨物調査◆昭和四年六月の關稅中氣象◆八月中秋觀測◆八月市場買取取扱高◆八月の視察員派遣◆園藝講習所派遣◆養蠶◆玉江浦の業績◆付感する所◆裁町立工業講習所状況◆鮮滿視察團募集◆夏蜜柑の施肥に就て

財政經濟

◆昭和四年度七月分納稅成績◆印紙稅法の注意◆裁町の

納稅成績に就て◆國民經濟の立直しと金解禁の決行についで

軍事

◆昭和四年度陸軍簡閱點呼に就て◆昭和四年度裁町に於ける徴兵検査抽籤結果◆昭和四年度徵集兵入營期日一覽◆勤務演習召集◆海軍豫備員任命

通信

◆裁局電話通話區域擴張◆郵便切手刷色改正◆裁郵便局八月申行事◆裁郵便局昭和四年八月分事務取扱狀況

土木交通

◆火葬場道路改修◆新川岩盤掘鑿工事

社會事象

◆長門峽内發昌寺本尊入佛式舉行◆堀内公會堂建設◆住吉祭お船うた◆公人及私人

衛生

◆昭和四年一月以降傳染病患者數◆裁町立堀内病院入院患者數◆昭和四年一月以降死亡者埋火葬別◆蠅蟲の暴虐は温暖な地方に

人事

◆月籍と身分關係◆裁町の人口動態◆八月中の寄留◆八月中の受刑者

雑事

◆飛行機上より裁市街を撮影◆假面を被る平和の使者◆感謝◆八月中秋町誌◆酒なし日◆昨年の今月今日

庶般行政

財政緊縮に關する

山口縣訓令

現下の時局を匡救して我國財政經濟の堅實なる發達を所期せんとするには中央財政と合せて地方財政の一大整理緊縮を斷行し國民の消費節約を促進し民間經濟の整理を企圖するを以て急務とす仍て今回政府に於ては之が整理に關し要項を定め之に準據し措置すべく訓令せられたり各位は今後左記要綱に準據し市町村財政の整理緊縮を圖るに最善の努力を致さるべし。

昭和四年八月三日 山口縣知事 黒崎眞也

記

第一、昭和五年度當初豫算は特別の事情なき限り左記各號に依り極力整理緊縮を加へて之が編成を爲し以て其の豫算額を昭和四年度當初豫算額に比し

少くとも一割五分減とすること

一、各費目に亘り整理節約を行ひ極力其の減額を期すること

二、新規の計畫は之を計畫せざること

三、既定の計畫にかゝるものにあつても（繼續費たる）否とを問はず一之が打切中止減額又は繰延等を實行すること

四、年度内所要經費にして豫見し得べきものは洩れなく之を當初豫算に計上すること

五、課稅に付ては昭和四年度の程度以下に止め之が新設又は増徴を避くること

六、地方債に付ては客月二十日山口縣訓令第二十二號に依ること

第二、豫算の追加は昭和四年度及五年度共に眞に緊切差措難き事情の生ぜざる限り之を避け（財源を有する場合と雖）以て整理緊縮の趣旨を徹底し其

の追加の己むを得ざる場合に於ては前項の趣旨に準し措置すること  
 第三、昭和四年度既定豫算の實行に關しても第一項の趣旨に準し措置すること  
 第四、整理の結果歳入に餘裕を生ずる場合に於ては起債額の減少を圖り尙剩餘あるときは舊債の償還を爲し又は課税の軽減を圖ること。

◎第七回町會

八月三十日午前十時半より開會昭和四年度秋町歳入歳出追加豫算の件外九件を附議し何れも原案の通可決定せり。就中八月三十一日を以て任期満了と爲れる本町九十七行政區の區長及區長代理者として決定したる者左の如し。

區名	區長	區長代理者
川島	西山和一	河村良一
堀義彦	中原兵藏	藤山音熊
阿武龜之亟		

土原	大田梅五郎	柴田武一
橋本	柴田八五郎	澤本俊三郎
御許町	中村善右衛門	中原英太
唐樋	松浦茂	原田宗三郎
江向	松本雅樂	柴田熊一
河添	神代大介	平田久吉
平安古町	山本詩教	中村忠助
堀内	鈴川喜重	尾形二郎
南片河町南古萩町	山縣清穂	横山長穂
吳服町二油屋町	安藤方亮	中村福藏
	林榮次	重村傳一
	池田喜代次郎	中島末熊
	池内壽一	田村虎吉
	藤井頼三	守田源吉
	岩本治定	馬庭政二
	佐々木藤作	長岡秀一
		福壽六三郎

古魚店町	春若町	三宅茂一	尾崎市五郎
北片河町	今魚店町	長富吉五郎	大庭一二郎
樽屋町	北古萩町	後藤市五郎	竹内一熊
北古萩町	二區	大和屋源吉	和泉屋阪次郎
塩屋町	細工町	木原鶴松	田中久吉郎
瓦須	山田治郎	柳井正七	
惠美須	長谷千代助	吉屋啓一	
米屋	藤井又三郎	白井松之助	
東田町	柏木源五郎	安藤龜藏	
西田	出羽百合助	久保一郎	
津守	山田七郎	竹原安治郎	
上五間	矢田岩藏	原田荒二郎	
下五間	松村惣十郎	藤井政人	
吉田	後藤正七	河野健次郎	
古萩	三舛市熊	長嶺五郎	
今古萩	岩武改一	大島彌三郎	
熊谷	藤山清太郎	田中永七	
濱崎新町	田中槌五郎	河野直藏	
濱崎新町	岡村秀藏	井町太作	

濱崎町	岡村槌藏	有馬萬吉
濱崎町	小野一三	松原新一
濱崎町	尾崎久市	久保善助
濱崎町	進藤長兵衛	大島誠一
濱崎町	進藤福松	刀禰徳介
濱崎町	藤田鹿之助	三好千一
濱崎町	長尾源作	溝部吉藏
濱崎町	吉村藤吉	佐藤一熊
濱崎町	中村清二郎	塩屋正
濱崎町	原田虎之亟	貞本豊重
濱崎町	福島幸輔	石井勘九郎
濱崎町	大谷正一	小野村音吉
濱崎町	山本滿作	山本新一
濱崎町	山本喜兵衛	吉賀正市
濱崎町	永安豊太	田中清作
濱崎町	長岡佐吉	田原益藏
濱崎町	岡本徳助	山中正兵衛
濱崎町	中村正一	山村常一
濱崎町	金子豊熊	永田彌三郎

鶴江	前小	後小	小畑浦	後小	越ヶ濱	河	笠	大	沖	霧	金	椿							
二區	二區	二區	二區	二區	一區	一區	一區	一區	一區	一區	一區	一區							
村木鶴松	佐伯常藏	阿武忠一	岩崎市太郎	山本平左衛門	岸田雪城	廣田甚吉	阿部彖藏	井町常一	富田德松	楢本甚吉	内田清始	屋佐々木治郎右衛門	屋伊藤友吉	原幸坂好藏	口宗樂竹藏	谷長嶺吉藏	田口良允		
村木千吉	別府龜吉	金子養吉	岡村與市	大田又七	河野梅吉	鈴木政吉	松田龜松	末武伊勢松	宮内繁三	白石初五郎	井町平次郎	井町幸吉	田村喜右衛門	田村幸穂	大谷福藏	宗村貞一	中原三吉	藤田熊槌	河村百合政

雜式	濁淵	青海	東木	西木	北木	山田	奧玉江	藤ヶ	玉江浦	倉	小				
町	淵	海	間	間	間	區	區	區	區	區	區				
金子金八	有田菊槌	堀信三	小坪辰一	有田作二	阿島新吉	原嘉彦	田村重左衛門	小田岩一	來島末藏	藤井庄兵衛	中村寅松	磯部三槌	柳井光太郎	杉山金一	伊藤壽一
福田金藏	田村十二郎	中村梅吉	原久治	中原市五郎	林初一	山藤槌松	田屋清一	木島進一	堀鶴松	小川半七	玉井甚一	坂本槌藏	小野市五郎		

●八月中に於ける本町各種  
委員會の開催

八月二十六日午前十時より、新川岩盤掘鑿工事施行

並中津江道路改修に關する件に付、都市計畫調査委員會開催。

●萩町辭令

岡村萬五郎

新川工事監督を命す  
(八月三十一日付)

●叙任及辭令

陸軍少將從四位勳三等 厚東篤太郎(萩出) 任陸軍中將  
 陸軍歩兵大尉從六位勳六等 石光憲弑(全上) 任陸軍歩兵少佐  
 陸軍歩兵中尉正七位 藤井勇(全上) 任陸軍歩兵大尉  
 陸軍中將 厚東篤太郎 補旅順要塞司令官  
 第六師團長陸軍中將 福田彦助(萩出) 身者

待命被仰付 深山重砲兵聯隊中隊長陸軍砲兵大尉 森重幡雄(全上)

補深山重砲兵聯隊附大阪市立工藝學校服務を命す 步兵第二十一聯隊中隊長陸軍歩兵大尉 平野秀(全上)

補步兵第二十一聯隊附島根縣立大社中學校服務を命す 步兵第七十三聯隊大隊長陸軍歩兵少佐 來島新一(全上)

補步兵第十四聯隊附福岡縣立小倉中學校服務を命す 第二十師團司令部附陸軍歩兵少佐 石光憲弑

補步兵第八十聯隊附朝鮮公立大邱中學校服務を命す 步兵第六十一聯隊附陸軍歩兵少佐 南方秋亮(萩出) 身者

和歌山縣師範學校服務を免す補步兵第十六聯隊附 獨立守備步兵第二大隊附陸軍歩兵中佐 松尾英一(全上)

滿洲教育專門學校服務を免す補步兵第四十聯隊附

山口聯隊區司令官陸軍歩兵大佐

内藤 稠彦

待命被仰付

陸軍歩兵大佐

中村 音吉

補山口聯隊區司令官

歩兵第三十八聯隊大隊副官陸軍歩兵大尉

生駒 林一(萩出身者)

補歩兵第三十八聯隊中隊長

歩兵第十二聯隊中隊長陸軍歩兵大尉

椿 武忠(全上)

補台灣歩兵第一聯隊附

下關要塞司令部附兼陸軍兵器本廠員

築城部本部附陸軍一等主計 柿並修三(全上)

補歩兵第十六聯隊附兼第二師團經理部員

正四位勳二等功四級 福田彦助

叙勳一等授瑞寶章

正五位勳六等 岩田博藏(萩出身者)

叙勳五等授瑞寶章

台灣總督府内務局長 豊田勝藏(全上)

依願免本官

### □ 八月中發令の主要法令 □

#### ● 國の法規

◎ 宮内省告示第二十八號

七月二十八日誕生セラレタル博義王殿下ノ第一女子名ヲ光子ト命セラル

昭和四年八月三日 宮内大臣 一木喜徳郎

◎ 宮内省告示第三十號

神宮式年遷宮ニ付奉遷期日左ノ通定メラル

皇大神宮 十月二日

豊受大神宮 十月五日

昭和四年八月十五日 宮内大臣 一木喜徳郎

◎ 宮内省告示第三十二號

恒憲王妃殿下本日午前一時五十五分東京市麴町區一番町二番地賀陽宮邸ニ於テ御分娩王御誕生アラ

セラル

昭和四年八月十七日 宮内大臣 一木喜徳郎

◎ 縣の法規

一、河川取締規則(八月十六日山口縣令第七十五號)

に關する説明を詳記したる大立札を揚げ一般遊覽者の爲便宜を興ふることとせり

#### ● 第三部消防組員辭令傳達

並に行賞式

第三部消防組(玉江浦)に於ては、八月十六日午前十時より新加入者の辭令傳達並に、前小頭坂本槌歳氏の行賞式を玉江浦説教所に於て舉行せり。阿武庶務課長は町長代理として列席したり。

#### ● 昭和五年度陪審員割當數

昭和五年度に於ける所要陪審員割當左の如く決定せる旨山口地方裁判所長より通牒ありたり。  
萩町割當陪審員數 五十五名

#### ● 昭和三年萩町勢要覽

昭和三年中に於ける萩町の現勢を網羅したる萩町勢

一、公私經濟緊縮山口縣地方委員會規則(八月二十三日山口縣告示第六百四十八號)

#### ● 萩町告示の主なるもの

- 一、町會招集の件
- 一、コレラ病流行に付臨時船舶見張所開設の件
- 一、町會に於て議決事項の件
- 一、特別税戸數割滞納者督促不能の件
- 一、縣稅營業稅納稅者徵稅令書交付不能の件
- 一、滞納者差押物件公賣の件

#### ● 住吉神社へ參向使

住吉神社例祭は、八月一日午前十時より黒崎知事代理西重縣屬を幣帛供進使として執行、同時刻林萩町長も參拜せり。

#### ● 明神池畔に建札

萩町に於ては越ヶ濱明神池の池畔に笠山及び明神池

要覽は其の裏面に美彩せる正確なる萩市街圖を添刷することゝとし、此の程漸く完成したるに依り、八月三十一日の日付を以て一般に之を發行せり。

### ◎田中前首相並久原前遞相 歸京

田中、久原前兩相は去月廿九日相携へて歸萩靜養中なりしが、八月二十三日出發歸京の途に就かれたり此の日午前七時、田中男爵は竹下、津雲、藤井三代議士、豊田前台灣總督府内務局長、北野秘書を伴ひ平安古の素水莊を出發八丁筋より橋本町を、久原前遞信大臣は藤田前代議士、吉田遞信省囑託、福井執事其の他多數を隨へ吳服町安富邸を出發、田中通御許町筋を橋本橋上に於て前兩相相會し、夫より自動車捨て沿道に堵列して見送れる一般町民に對し、叮嚀なる挨拶あり、蓮正寺の田中家墓所に參拜、再び各小學校各中等學校、青年團、青年訓練所、在郷軍人團等各種團体員の盛んなる見送に對し、逐一之に答へ萩驛前より自動車に分乘、是より先林萩町長

町會議員は二班に分れ前兩相に従ひ、防府町迄見送ることとなり各種團体代表者の自動車と共に延々長蛇の如く、沖原本街道を明木村へ進み同村角力場に於て田中男爵は、大田街道を小郡を経て山口市へ久原閣下は佐々並街道を山口市へ、而して田中男爵は大田町に於て美禰郡有志の歡迎者に挨拶、金麗社に參拜、午前十時二十分權現山下の八木別邸に於て再び兩閣下相會し少憩の後、午前十一時四十分防府町に到着せられたり、それより多々良なる毛利公爵家へ伺候、田中男爵は午後二時五十七分發の下り列車にて林町長、町會議員其の他各種團体代表者の萬歲聲裡に宇部市へ向け發車、久原閣下は午後三時五分林町長町會議員其の他有志により、萬歲聲裡に防府鐵道防府驛より島地方面へ向け出發せられたり。

### ◎田中、久原前兩相特別 歡迎會

萩町主催の、田中前首相並に久原前遞相の特別歡迎會は、八月六日午後七時半高大亭に於て開催。出席

なる謝辭あり、開宴中は歡談笑話盡る時なく斯くて林町長の發聲に依り、田中久原前兩相の萬歲を三唱し、午後十時迄盛況裡に散會したり。

### 旌 表

會員百五十余名に達し、定刻田中久原前兩相は藤田前遞相秘書官、竹下、西村兩代議士、北野前内閣囑託及吉田遞信省囑託と共に著席、林町長は一同を代表し歡迎の挨拶を述べ、之に對し田中男爵より簡單

### ◎飾板下賜

賀田以武氏は大正十一年六月、萩町、椿東村、椿村山田村及、縣立萩中學校外四校の育英並獎學資金と

して、又、同郡立萩圖書館基金として、合金壹萬六千圓を寄附せられたるに對し、今回賞勳局より飾板一箇を下賜せらる。

### 學 事

◎神宮奉頌唱歌詞

文部省及内務省に於て神宮奉頌唱歌詞左の如く決定せられたり。

- 一、天地のむた窮みなく 天津日嗣は榮ねんと
- 御國の基建てませる 皇御祖のかしこさよ
- 二、千秋五百秋安らげく 瑞穂の國に幸あれど
- 御國の民を護ります 皇御祖の尊さよ
- 三、神路の山の彌高く 五十鈴の川の彌遠く
- 天照る光仰ぎつゝ たたへまつらん諸共に

(八月三十一日付 山口縣)

◎游泳講習會終了

山口縣及阿武郡兩教育會、萩町並萩商工會聯合主催の游泳講習會は豫定の通、八月六日終了に付、全日午前八時菊ヶ濱松林中に於て閉會式を舉行、來賓寺島男爵外多數參列あり、式後引續き游泳大會を開催したり。

◎夏期林間學校閉鎖

本縣及阿武郡の各教育會並、萩町の主催に係る夏期林間學校は豫定の通、八月十日終了に付全日午前十時より志都岐公園内東園學校開設地に於て、終了式を舉行せり。來賓寺島男爵外各官公衛長父兄等多數參列ありたり。

◎縣設教員夏期講習會

前號掲載の縣設夏期講習會は、豫定の通八月二十五

◎小學校教員異動

大津郡明倫尋常高等小學校訓導

松本千代春

任山口縣阿武郡明倫尋常高等小學校訓導

(八月二十八日付 山口縣)

椿東尋常高等小學校訓導

多田照子

明倫尋常高等小學校訓導を命す

を爲し午前十一時五十分閉會せり。

◎社會教育講演會

萩町主催の社會教育講演會を八月十三日午後八時町公會堂に於て開催。林町長開催の主旨を述べ、次で講師現代議士伊藤仁太郎氏は「明治維新の當時を鑑みて」と題し熱辯を振つて獅々吼し、滿堂の聽衆に多大の感動を與へ午後十時半閉會したり。

◎明倫校來校視察者

本校に於ける八月中來校者左の如し  
植物學臨地講習員十六名 伊藤痴遊 下關市外彦  
島町青年團員中岡某外一名 第一高等學校教授及  
本縣体育主事立石豪一 朝鮮金山第二小學校訓導  
紫田實 丸龜女學校教諭中村茂 福岡縣女子專門  
學校教授鈴木暢幸 山口聯隊區司令官中村晉吉  
福岡市御供所小學校訓導山路章 第五師團長原口  
初太郎 京都武學專門學校鈴鹿登外十名

◎玉江浦青年團支部總會

當町山田青年團玉江浦支部は、其の總會を八月十九日午前九時三十分より全浦觀音院に於て開催し、支部役員の選舉に次ぎ、戊申詔書の奉讀式を挙げ、來賓渡邊少將其の他多數參列、式後林町長は萩町勢の進展策に付講演閉會せり。

◎椿東處女會月例會

八月二十九日午前八時半より、例の如く松陰神社の拜殿及び松下村塾の掃除を濟ませたる後、一同會場に集合、心の力を朗讀し次て、嶄新なる舞踊の講習

右の外本月二十五日より四日間本校講堂に於ける防長史の講習會に参加せる講習員にして本校内史蹟を見學せる者多數ありたり。

◎文部省主催青年訓練所指導員講習會概況 (承前)

本會期中の第二日及第三日兩日の各午後協議會開催せらる

協議 題

青年訓練振興に關し今後一層改善を要すべき事項右議題の協議進行上左記(イ)乃至(ヌ)の各項に區分して出席會員より一つ書の通各地方の實施狀況及意見の陳述ありたり

(イ)各地方毎に其の實情に應し入所獎勵の爲最も有効と認めたる方法並出席獎勵方法

(ニ)實業補習學校と青年訓練所とを合同して經營したること

(ハ)ポスターの掲示により入所勧誘を爲したること

一、評議員會を設置して入所及出席獎勵に力めたること

一、市町村當局區長及關係者一同舉つて督勵に當りたること

一、區域内の各團會連絡提携して普及宣傳に力めたること

一、精勤旗を施設して出席を發奮せしめたること

一、管理者及主事より未入所及欠席生徒の理由を徴したること

一、未入所及欠席生徒の各戸を訪問し直接勧誘を爲したること

一、警察署と連絡を保ち戸口調査の機會を利用して警察官より入所出席の督勵を爲したること

一、訓練委員會を設置し入所及出席の勧誘獎勵に力めたること

一、生徒中の精勤者を表彰して入所及出席を獎勵したること

一、青訓卒業生の優待方法を講じ間接的に入所及出席を勸奨したること

一、雇傭主と入所生との交渉理解を充分に求め置

くこと

特に雇傭契約前に交渉を了し置き入所を許さざる雇傭主の雇入に應せぬやうになすを有効とす

一、活動寫眞を利用して青年訓練の趣旨及實況を宣傳普及せしむること

一、公務員其の他多數入所資格者ある箇所には特別班を設けて訓練を施すこと

一、訓練所卒業生の助力後援の方法を講ずること

一、徴兵官より訓練終了期までは出席を怠らざるやう特に注意を促すこと

一、總て關係當事者の協力一致に依る熱誠努力の效果大なること

(ロ)青年訓練を實生活に適應せしむる方法

一、指導員として實地の技術堪能者を招致すること

一、職業科目を振興せしむること

一、訓練協議會を開催すること

一、教練の場所を各部落に配置すること

一、生徒の従事する職業の實習と學理とを密接に

する爲生徒をして研究記録を作らしむること

一、試作田の設置と其の指導を適切ならしむること

一、職業の實際に對する研究の態度を養成すること

一、質疑及應答の態度を訓練すること

(ハ)青年訓練實施以來教育上風紀上及衛生上等に及ぼせる影響

一、生徒の行動敏活となりしこと

一、生徒の禮儀正しくなりしこと

一、生徒の言語明確になりしこと

一、生徒の精神及意思の強固となりたる間接的影響に依り女子の節操善良となりしこと

(東京府下伊豆大島の實例)

一、一村内に於ける協同和合を助成せしこと

(ニ)青年訓練に於ける科外教授には如何なるものを適當とするか

一、萩町椿青年訓練所の實施狀況を發表

(ホ)主事指導員の教練習得の方法

一、縣設講習會を開催すること



- 一、小學校教員中の短期現役兵を指導員とし活動せしむること
  - 一、教練實施の状況を參觀視察すること
  - 一、軍隊見學を四年次生徒と共に實施すること
  - 一、巡回指導員を設置して巡視指導を行ふこと
  - 一、主事、指導員全部參集し教練大會を開催すること
- (ハ)訓練振作上最も苦心したる事項
- 一、出席不良の傾向に鑑みて青年訓練と實業補習學校とを合併實施し整理の結果成績良好となりしこと
  - 一、欠席生徒は毎回遺漏なく欠席理由を尋ね之が處理を怠らざりしこと
  - 一、青訓振興委員を設けて常時改善振興を策せしこと
  - 一、青訓の趣旨及實際を印刷して生徒の家庭其の他に配付し尙ほ必要に應じ説明の勞を執りしこと
  - 一、パンフレット又は雜誌或は通知票等を交附し各自所屬青訓の地位を自覺せしむべく努力せしむること

- 一、青年團、在郷軍人會と密接なる提携の下にそれ等團會の援助を高めしこと
  - 一、經費寡少なる爲施設經營意の如くならざるを以て經費の増額に努力せしこと
- (ト)教練指導上最も困難なりと感ずる事項
- 一、教練指導員其の人を得ること
  - 一、教練に興味を持たしむること
- (チ)教練の効果が具体的に日常生活に及ぼせる影響
- 一、火災其の他非常時に於ての行動が沈着にして敏活なりしこと
  - 一、職業に従事する者をして規律的に仕事を爲す傾向を助長せしこと
  - 一、身体の健康を増進せしこと
  - 一、言語の明瞭且つ正確になりしこと
- (リ)教練指導上特に創意工夫せる教授案にして他の訓練所に普及するを適當と認むる事項
- 一、軍隊との連絡を圖り各種の演習に參加せしむるやう工夫すること
  - 一、軍隊(兵營)に二三日間宿泊して軍隊教練との

- 一、連關を保ち且つ教練の實施をなすこと
  - 一、在營者歸郷の際青訓生に對し教練生活上の所感談を聞かしむること
  - 一、旗信號と數學とを結合せしむること
  - 一、教練研究會を設け其の改良案を作製したること (名古屋市に於て實施せるもの)
  - 一、全生徒を班別(四班に分つ)競争的に立案工夫せしむること
- 右は教練指導上のみならず入所率、出席率の向上にも効果多しと
- (ヌ)都市及び農村に於ける研究議題
- 一、公休日の一定を希望す
  - 一、訓練を二ケ年に短縮の希望一部に在りたり
  - 一、實業補習學校と併合實現を希望す
  - 一、第四次生徒の徴兵不合格者に欠席多し之が矯救法を講ずること
  - 一、入所年次を半年早めたき希望あり
  - 一、第四日古閑中佐の青年訓練所の教練に就きての題下に講演ありたり其の要旨左の如し
  - 一、緒言

人生には發育の時期があるからそれぞれ發育期に順應して適當なる訓練教養の必要がある

一、青年期に於ける鍛鍊教育の必要

この期は人生に於ける心身鍛鍊の最も好い時期であり逸すべからざる好期である此の時にしつかり指導訓練を加へ以て國家の進運に寄與させたいそれ故にその指導の良否は國運發展の振否に影響することが大である

一、世界列強に於ける青年教練の特質

英、佛、獨、米、伊、露の各國みなそれぞれの特色をもつて居るがそれは其の國の事情に由るものであるとてその國情と特質とを簡明に述べその共通点としては各國孰れも青年の軍事訓練に力を注いで居ることである

一、青年訓練に於ける教練の意義

個人の完成と團体的協同的有機的鍛鍊を爲すのにある心身鍛鍊に二つの方法がある

一は外部より内部に入る仕方……教練

一は内部より外部に出る仕方……修身公民科

この兩者は最も緊密なる連繫を有つて是等を一

元的に教育することが大切である

一、青年訓練と軍隊教練との差異

青年と軍隊との身体状況及び素質に於て差異あるが如く兩者は之を施す目的に於て既に同一でないそれ故に之が實施に當りその材料はよし、同じものであつても目的を異にしてゐるから夫れを達する手段方法も自ら差異を生ずるのは當然のことである殊に地方によりて土地の状況を異にするのであるからそれ等の境遇に應じて適切な方法を考案し教練の生活化、實際化に力め能率の増進向上に留意しなければならぬ

一、青年教練振作上の参考事項

京都市、名古屋市、姫路市、大阪市、東京市其の他郡部地方の實況につき述べられたり

業

參觀及見學

一、青年訓練所の參觀

第二日の午後七時半より若松青年訓練所及門司青年訓練所の二ヶ所に於て訓練實施の現狀を參觀した(就中門司市は他の同僚の參觀したるもの)が特に指導員の數多きこと、訓練に要する經費豫算の比較的多きこと並當局の熱心なる態度とは一般視察者に刺戟を興へたやうに感じた第三日の小倉市第一青年訓練所の實地參觀は天候の都合により實施不能につき唯訓練所要録によりその概況を窺ふただけである

一、兵器廠及兵器製造所並に八幡製鐵所の見學

前者は第四日の午後八幡市の方は五日の午前孰れも實地見學を爲した(畢り)

●農業調査員任命

七月一日付を以て農業調査員を命せられたる者の外八月二十七日付を以て更に左記の者農業調査員を命せられたり

平川直景 岡田幸梶

●副業品販路地状況 (一)

◎木炭

一、需要状況 阪神 白焼各種、黒焼雜大小丸 和歌山 黒焼合法雜大小丸 奈良 黒焼檜

二、販賣の状況大阪 天満、玉造湊町驛はレール仕切り委託主義にして特に白焼上品の仕切良とす 神戸 主として湊川兵庫驛の委託賣にして貨車卸賃噸當五十錢問屋委託手数料販賣額の約五分を要す黒雜小丸は他よりも高價に取引され仕切送金の早さを特徴とす

和歌山 特に黒焼合法高價にして雜小丸は四貫入

角俵比較的有利なり和歌山驛レール仕切とす

奈良 黒焼檜の需要あるも價格安きを以て品質劣りたるもの、仕向けを適當とす

三、生産改善の意見 目下生産の状況は検査高白炭四十六万四千俵黒炭百四十七万一千俵にして白焼は約四分の一に過ぎず一面需要の状況は阪神に在りては白焼各種と黒焼の雜物のみ將來の改善案としては雜炭以外白焼とするか又は硬度を高め角俵として京濱方面向にする要ありと認めらる

四、現在の販賣先

神戸市 小黒藤兵衛、青木喜之市に委託 大阪市、和歌山其の他は三井物産をして極力販路擴張に努めしむ

五、販賣方法 目下販賣し得る種類に付左の方法に依ること

- イ、委託販賣
- ロ、買取販賣
- ハ、平均賣
- 六、切炭

阪神に於て防長黒炭の販路擴張の一方面として切

炭を試賣せられたることあり切炭としては關西の池田炭關東の佐倉炭は櫟を以て製造したる黒炭にして木炭中の美術品とも稱すべきものなり最近伊豫に於て大量産出せり逐次改良を加へられ年々増加するの傾向あり

荷造、俵入、正味五貫俵箱入正味四貫俵  
關西地方に於ける産地  
攝津 池田地方  
伊豫 郡中地方  
大和 笠置地方

切炭は産地に於て副業的に生産せば有利なり

◎薪

- 一、規格 大阪向 長さ一尺四寸 廻り二尺八寸  
神戸向 長さ一尺二寸 廻り三尺
- 二、種類 上木 櫟、檜(現今相場二〇錢)  
下木 雜 (現今相場一八錢)
- 三、賣行時期 十一月より三月頃迄
- 四、取扱注意  
1、東の廻りは針金を用ひ廻り並に長さの寸法は必ず充分にすること

- 2、東中には丸木を入れず必ず割木のみとする
- 五、積載量 一三屯車に千二百束位
- 六、諸掛 貨車卸屯五十錢問屋口錢賣上額の四分
- 七、送貨先 神戸湊川驛神戸合同運送店扱小里藤兵衛 城東線玉造驛玉造合同運送店扱淺野商店

◎藁工品

- 一、大阪市場を中心として取引せば  
呎一ヶ年 一千一百万枚 約一三〇万圓  
苙一ヶ年 二百八十万枚 約三五万圓  
繩一ヶ年 二百二十万貫 約三八万圓
- 二、消費先  
1、呎 肥料會社にて消費せらる  
2、苙 紡績會社又は陸軍各種荷造用に消費せらる  
3、繩 鐵工所吳服屋其の他荷造用
- 三、現在の値段  
呎 一枚 十七錢：二十錢  
苙 一枚 荷造用十錢 厚きもの二十錢：三十錢  
繩 一貫 十五錢：四十錢

- 四、取引上に付ては適應する規格一定し検査を勵行して品質を整へ共同出荷に依り多量契約の要あり
- 五、需要は旺なる爲右の條件に一致せば販路に支障なし

◎肥料呎

- 一、消費先 大日本人造肥料株式會社
- イ、一ヶ年購入數彦島百万枚小野田五十万枚
- ロ、買入先 彦島工場は九州品小野田工場は山口縣品を主とし生産団体と契約せず小野田町村上耕甫を指定人とす
- ハ、買約方法 大阪に於て約三ヶ月間の分割納入數と價格及規格を定めて指定工場に現物を納入する爲圓滑を欠くことあり
- ニ、買入契約 期限數量不合格品の處理に付生産団体に在りては勵行敏活を欠く爲目下は仲買人を指定しつゝあり
- 二、全國購買組合聯合會に在りては過燐酸石灰及配合肥料用の呎を要し山口縣として取纏め期限數量を確實にせば左の通契約を爲し得らる
- 1、毎月引渡契約數約五千枚但し船の都合に依り

ては一万枚にても差支なし

- 2、代金支拂方法毎月二十日締切月末拂とす
- 3、送荷先 大阪淀川區姫路町ラサ島燐礦株式會社
- 4、呎を送荷し肥料を購入すること、せば相互に便宜ありと認む
- 5、目下契約値十七錢位

◎繩

- 一、需要の太さ 二分、三分、四分とす
- 二、製法 原式機械を以て製繩し大西式仕上機に依りたるもの當地向とす藁は良く打ち燃りの餘り堅からざるものとす  
原式製繩機賣先は名古屋市中區笹島町物産共同合資會社、大西式仕上機賣先は廣嶋縣福山市大西式繩仕上機製作所
- 三、取引方法當地標準品は北陸地方産を以てし見本品の品質に依り定む取引は少くも八噸半以上とす
- 四、問屋 大阪湊町驛末吉橋二丁目 荒要商店

船舶職員養成講習會  
臨時船舶職員試驗

萩町は阿武郡機船底曳網組合と共同主催を以て臨時試驗受験準備者の爲、七月二日より三週間萩町公會堂に於て船舶職員養成講習會を開催せり。本縣水産試験場技師塩澤遼馬雄氏を甲板部の大日本水産會技師小茂鳥豊三郎氏を機關部の講師として招聘し、講習終了後引續き萩町に於て、臨時船舶職員試験の執行方を其の筋に稟請、七月二十四日より八月十四日迄遞信技師白井源次全牧村愛之助、全小美川眞止氏及小西書記共萩町に出張、各試験を執行せられたり其の合格者及試験成績等左の如し。

漁船丙種運轉士試験成績表

原籍地名	受檢準備生		不合格者		合格者	
	身體検査	口述試験	計	計	計	計
萩町	七	四	二	三	三	三
見島村	八	二	一	三	三	五
六島村	一	一	一	一	一	一
大井村	八	一	一	五	五	三
計	一七	八	五	一三	一三	一七

摘要

原籍地名	受檢準備生		不合格者		合格者	
	身體検査	口述試験	計	計	計	計
奈古村	一	一	一	一	一	一
明木村	一	一	一	一	一	一
須佐町	二	一	一	一	一	二
仙崎町	五	一	一	一	一	四
三隅村	三	一	一	一	一	三
神田村	二	一	一	一	一	二
豐西村	一	一	一	一	一	一
大華村	一	一	一	一	一	一
防府町	九	一	一	一	一	八
島根縣	三	一	一	一	一	二
長崎縣	一	一	一	一	一	一
福岡縣	二	一	一	一	一	二
計	二八	四	四	四	四	二七

萩町現住者

萩町現住者

合格者一名不合格者一名萩町現住者

受檢申請手續を取扱ひたる數百十八名にして、内島根縣一名、防府町二名、福岡縣二名は講習を受けざる合格者なり、別に他所に於て講習を受け直接受檢申請手續を受し、本會に關係なくして受檢せる者三十名の内、二十二名の合格者ありたり。

小形船丙種運轉士試験成績表

原籍地名	受檢準備生		不合格者		合格者	
	身體検査	口述試験	計	計	計	計
萩町	二	一	一	一	一	一
奈古村	一	一	一	一	一	一
仙崎町	一	一	一	一	一	一
福川村	五	二	一	三	三	二
計	一	一	一	一	一	一

摘要

他に受檢者なし

漁船乙種二等運轉士試験成績表

原籍地名	受檢申請生		不合格者		合格者	
	數取	身體検査	口述試験	計	計	計
萩町	二	一	一	一	一	一
見島村	二	一	一	一	一	一
神田村	二	一	一	一	一	一
奈古村	一	一	一	一	一	一
福岡縣	七	一	一	一	一	六
計	一	一	一	一	一	一

摘要

内一名萩町現住者

受檢申請手續を取扱ひたる七名の内、一名は準備考

備講習生(神田村)なり。

別に直接受檢申請手續を爲し本會に關係なき者十五名の内八名の合格者あり(大分縣五名神玉村一名島根縣二名)

發動機船三等機關士試験成績表

原籍地名	受檢準備生		不合格者		合格者	
	身體検査	口述試験	計	計	計	計
萩町	二	一	一	一	一	一
六島村	三	一	一	二	二	一
大井村	二	一	一	二	二	一
奈古村	一	一	一	一	一	一
見島村	四	一	一	一	一	三
仙崎町	八	一	一	一	一	七
三隅村	六	一	一	四	二	二
通置村	一	一	一	一	一	一
日置村	一	一	一	一	一	一
防府町	二	一	一	一	一	二
神田村	二	一	一	一	一	一
神玉村	四	一	一	一	一	四
灘村	一	一	一	一	一	一
計	一	一	一	一	一	一

摘要

萩町現住者

大井村	松浦政一	須佐町	井上音市	三隅村	長尾一郎	萩町	山田吉二
萩町	中村新衛	萩町	末武政治	三隅町	久保田好衛	萩町	古田孫吉
全	吉岡吉藏	全	上田茂一	三隅村	里中政之助	全	藤山勇
全	古見箕松	全	郷本三次郡	全	島村通夫	全	武田平三郎
全	中村清歳	全	大田淺一	全	家田彦式	全	廣田菊一
全	青木久八	全	山城利吉	全	古城幹雄	全	許寛三
全	河村鐵藏	全	石丸甚吉	全	中村政雄	全	朝野鮮
全	中村義一	全	石丸多助	全	雜賀義介	全	神田村
全	小野村菊一	全	万野金四郎	全	盛賀英助	全	萩町
全	吉田長吉	全	鶴谷龍一	全	大塚嘉市	全	島根縣
全	井町為藏	全	大木貞一	全	岩崎芳雄	全	萩町
全	小形船丙種運轉士試験合格者	全	鹿兒島縣	全	宇野稔	全	萩町
全	漁船乙種二等運轉士試験合格者	全	三隅村	全	坂本銀六	全	長崎縣
全	神田村	全	仙崎町	全	吉津龜吉	全	鹿兒島縣
全	神田久五郎	全	上邑四郎一	全	西野達雄	全	萩町
全	奈古村	全	幸徳甚吉	全	河村剛一	全	仙崎町
全	神田村	全	弘中徳市	全	坪井吉五郎	全	仙崎町
全	境米吉	全	重田政一	全	吉津榮作	全	山口市
全	發動機船三等機關士試験合格者	全	村木章男	全	木村万作	全	山口市
全	原籍地名	全	萩町	全	平賀信一	全	萩町
全	氏名	全	萩町	全	仙崎町	全	萩町

東岐波村	一	萩町現住者
山口市	一	二名共短期間講習ヲ受ク
下關市	二	二名共萩町現住者
三重縣	二	不合格一名合格一名
長崎縣	三	萩町現住者
鹿兒島縣	五	合格者三名不合格一名
島根縣	三	合格者一名
大分縣	一	萩町現住者
愛媛縣	一	萩町現住者
朝鮮	一	全
合計	四五五	全

原籍地名	氏名	原籍地名	氏名
萩町	横山伊三	仙崎町	吉津與三
神田村	柏木吉太郎	全	津田仁作
島根縣	岩谷新左衛門	全	阿部萬三郎
全	金子伊勢八	全	西山芽出太
全	兼原三吉	全	松本庄一

萩町	近藤千吉	仙崎町	濱田富藏
全	大山文作	全	播磨季吉
全	岩崎梅市	全	幸徳玄二郎
全	岸榮榎	全	伊倉干松
全	横田助次郎	全	天野岩松
全	佐伯松右衛門	全	古見八右衛門
全	湯本與四郎	全	藤山千十郎
全	岩永善藏	全	山本辰之助
全	吉浦幸左衛門	全	吉村喜三代
全	濱田幸太郎	全	三好音熊
全	西山三三	全	鶴崎音松
全	末永利一	全	中野市藏
全	近藤龜松	全	古見久次郎
全	松浦貞一	全	山本三藏
全	西山文七	全	青海博一
全	阿部藤一	全	藤田音熊
全	松本竹一	全	野村安吉
全	家田好槌	全	古見十吉
全	中島力松	全	中村米藏

鹿兒島縣	原 仁太郎	島根縣	丸毛啓次郎
見島村	山田久次郎	防府町	佐子 實
萩 町	廣瀬市郎	萩 町	藤岡 勘一
全	大草友吉	全	田村友熊
六島村	小池米槌	全	田中彌三郎
萩 町	小田虎熊	見島村	中島清太郎

講習に参加し萩傘骨をして廣く縣外に移出すべく  
 決意せらるゝに至りたることは本講習會開催の趣  
 旨にも副ひ且つ萩町竹工業發展の爲慶賀すべきこ  
 となりとす二十九日終了式を舉行せり因に新川石  
 川孫介氏は本講習會に對し材料の供給其の他の終  
 始盡力せられたるを多とし其の厚意を感謝す

◎縣設木製品製造講習會、傘骨  
 製造講習會狀況

木製品製造講習會

八月十日より二十三日迄二週間萩町立工業傳習所  
 新川分場に於て開催せり講師沖見富吉氏は終始熱  
 心に指導を爲し講習中の製品にして視るべきもの  
 多し全二十三日終了式を舉行せり

傘骨製造講習會  
 八月十日より二十九日迄二十日間新川分場に於て  
 開催せり講師山口縣立工業試驗場教師杉山猪之吉  
 氏の卓越せる技能と講習生の熱心と相俟ち一段の  
 成績を擧ぐるを得たり又一面町内の當業者は時に

◎八月中萩港輸出入貨物調

品名	噸	量	價	格	輸	出	先
杉	丸	太	一六三	三、九三	〇〇	關東州(大連)	
計			一六三	三、九三、〇〇			

本年一月以降累計

輸 出(數量)	二、三六	價 格	九、八二
輸 入(數量)	三	全	一、五八〇
輸出入(合計)	二、二七	全	九、四二

◎昭和四年六月中關係各開  
 港別輸出入額

港別	輸 出 額	輸 入 額	合 計
橫濱	五、七四、四四	四七、三五、七六	一〇二、〇九、二〇
神戸	五、二二、三〇	六八、二九、六二	一二二、五一、九四
大阪	三、一九、六六	二五、三〇、二二	五九、四九、九八
名古屋	五、五五、四五	七、三七、二七	一三、九三、七二
門司	三、三二、七二	六、八四、九七	一〇、一六、六九
長崎	八六、二五	一、七三、九四	二、六一、二四
函館	一、三九、七三	五八〇、七九	一、九七、四二
小樽	一、四二、七〇	六七、四四	二、一〇、一四
徳山	一	一、七〇、四四	一、七〇、四四
敦賀	三二、四五	三七、八三	五九、二八
尾道系崎	五七、〇七	二二〇、二九	二六七、三六
伏木	三三、四五	四〇、八三	七四、三八
下關	三三、八七	一六一、〇七	一四四、九四
宮津	一	八九、四六	八九、四六
境	一〇、八二	一三〇、三六	一四一、一八
萩	一一、五〇	三六〇	三七一、五〇

◎八月中町立魚市場賣買  
 取扱高

萩魚市場 三五、六八八<sup>四</sup>四三〇  
 同越ヶ濱出張所 一〇、〇一四、六六〇  
 同 玉江出張所 四、二四九、一五〇  
 計 四九、九五二、二四〇  
 四月分以降合計 三五七、一一七、八〇〇

◎八月中の氣象

氣溫平均	最高氣溫	最低氣溫	雨 雪 量
三〇、一〇	三二、九三	二二、三三	一一三 <sup>三</sup> 耗

◎八月中風向觀測

北	北東	東	南東	南	南西	西	北西	靜穩	最多方向
一	一	六	八	一	一〇	二	四		西

◎八月中天氣類別日數

種別	快晴	曇	雪	霰	雹	霧	濃霧	雷	地震	最高	最低
日數	四	二	一	一	一	一	一	一	一	二八	一

◎産業視察員派遣

萩開港に伴ひ日本海沿岸の要港並に北海道函館及小樽方面に於ける産業の状況を視察せしめ一層商工取引の旺盛を計るため左記の者を島谷汽船會社鮮海丸に便乗八月二十八日出發せしめたり

- 記
- 大 三井眞一 田原權吉 倉橋 榮
  - 井山藤一 仲子福一 中尾龜次郎
  - 辰巳吉二郎

◎園藝傳習生派遣

昭和四年度に於て左記の者を本縣園藝傳習生として

廣島縣下に派遣されたり

萩町香川津 有吉 三人

◎養蠶

萩町九月一日迄の夏秋蠶掃立總數は四百五十五枚にして内七月掃參拾枚八月掃百六拾枚九月掃貳百六拾五枚なり其の飼育實戸數貳百參拾戸にして就中本秋より新に養蠶を開始したるものは越ヶ濱無田原及小原の三部落に亘り八戸となれり

◎玉江漁浦の業績に付

感ずる所を

玉江浦は萩町の西北に位し、橋本川洲口の左岸一帯の地を占め、其の戸數三百余戸より成れる一漁浦にして、萩町内五漁浦中最も歴史的の沿革に富めるの地なり  
同浦には漁業法に依る漁業組合の外、藩政時代より傳統せる大船頭組なるものあり、此の大船頭組は、

上組、中間組、角屋組及下組の四部を抱擁し之を統制する爲、大船頭一人、副大船頭一人を置き、其の任期を何れも二ケ年とし、毎年交互に正副の大船頭を選挙することとせり、此の選挙方法に付ても從來は、四部内に在る六十余人の船頭に限り選挙権を有し、船頭以外に共同出資を爲す乗組員に對しては之を認めざる關係上、其の間時折問題を惹起することあるに鑑み、本年を以て新に其の選挙の方法を改め一面船頭の被選挙區域を限定するを條件として、船頭及乗組員の一般に對し選挙資格を與ふることとし、圓滿裡に其の選挙を終了せり、之亦、選挙の一進歩なりと謂ふべく、殊に此の選挙に付ては其の間、陋劣なる選挙運動等未だ嘗て行はれず、單に被選挙人の人格と其の實力とを中心とし、共存共榮の下に衆望を得たる者其の當選者となり、寧ろ當選せんが爲運動を爲すを以て大なる耻辱とするが如きは採つて以て理想選挙の範と爲すに足るべし。  
大船頭なるものは三百余戸の漁浦を通し、絶對の權力を有するものなれども、本來に於て共存同榮を中核として、而も、人物本意を以て之を選出するにあ

れば其の間協同輯睦の美風横溢し、些の専制抑壓の間敷行爲あるを認めず、今日の制度として毫も批判の余地なきもの、如し。  
前記四部の各組には、夫々、青年の作業所を設け、將來漁業に依り生計を立てむとする者は家庭の如何を問はず、小學校卒業後成年に達するまで規律嚴肅なる此の作業所内に宿泊し、専ら漁業上に關する共同生活及共同作業の方法に付、訓練を受くることを例と爲す、一般に青年の合宿所なるものは風紀頹敗するもの、如きも、此の作業所に在りては、其の間禁酒禁煙をも勵行し嘗て風紀を紊亂したる等のこと無し、之れ蓋し、將來一人前の漁業者たり進むては榮譽ある大船頭の地位を贏ち得んと欲せば、必ずや此の經路を辿らざるべからざるに依り、一旦、其の禁を侵すときは永遠に自己の地位を奪ひ去らるゝに至るものなればなり。  
又是等の青年輩は、毎年六月二日を恒例日として各所屬の部落を表示する爲、白、黒、赤、黄の四組に分ち而も雄大壯麗なる出て立ちに依り、大競漕會を催ふし、其の意氣を鼓舞することに於て近郷に其の

名を知らるゝに至れり。

如斯、小學校卒業後四五ヶ年の間は、漁業者としての身体の鍛練漁具の新調又は修理の作業にのみ従来し、聽て成年に達するを待ち、遠洋漁船の共同出資者として船主の支配下に、近くは玄海灘に、遠くは朝鮮台灣方面にまで出漁することゝなる、而して其の組織に付ては船主は船体を提供し、且つ之を操従する代償として、別に漁獲高の二割を收得し、彼等成年者は其の乗組員となり漁具の全部を負擔する報酬として船主と共に残余の八割に對し分配を受くるものなるに依り、其の収入の點に於ては、他の月給制度に依るものゝ比にあらず如斯、玉江浦の遠洋漁業者が他の漁浦を超越し其の發達の視るべきものあるは、叙上藩政當時よりの傳統的良慣習を墨守すると共に同地方の長老として是等の制度を助長し指導する、渡邊陸軍少將、齊藤方面委員、柳漁業組合長及大田信用購買販賣組合長の諸氏に於て陰に陽に大なる努力を拂はれたるに由るものと謂はざるべからず。

尙ほ近くは、帆船に依る舊式の漁法を廢し、發動機

船を新造する者十有隻を數ふるに至り、今後の進展驚くべきものあるを疑はず、記して以て他日の成功に俟つことゝす。

因に、歸省中の田中男爵は八月二十一日特に、玉江浦の爲、半日を費し同浦觀音院に於て彼等青年を奮起せしむる爲一場の訓話を試みられたり、茲に併せて其の御厚意を感謝す。(萩町長)

### ●萩町立工業傳習所狀況

- 一、八月七日 田中、久原前兩相に寄贈すべきステッキを製作す。
- 一、八月十日 萩町立工業傳習所新川分場に於て本縣主催により十二日間木竹土產品講習會並に傘骨製作講習會を開催す。
- 一、八月二十一日 北鮮雄基松尾商店より日用品及び文人花籠各種五拾點余の依頼を受け製作に着手す。
- 一、八月二十二日 萩町模形入應接機製作の依頼を受く。

### ●鮮滿視察團募集

今秋朝鮮京城に於て朝鮮博覽會開催を機會に、下關鮮滿案内所主催として左記要項に依り朝鮮及び滿洲視察團を募集中に付、希望者は萩町役場に其の旨を申込まれたし。

#### 視察團要項

- 一、朝鮮滿洲視察行程 下關―釜山―京城―仁川―平壤―安東―大連―旅順―大連―撫順―奉天―安東―釜山―下關
- 一、期日 十二日間 下關發九月二十四日下關歸着十月五日
- 一、會費 金百拾圓
- 朝鮮視察行程 下關―釜山―京城―仁川―平壤―安東―釜山―下關
- 一、期日 八日間 下關發九月廿六日下關歸着十月三日
- 一、會費 金六拾五圓
- 一、待遇 汽車二等旅館上等
- 一、募集人員 約二百五十名朝鮮鮮滿視察團各別に

- 一、締切 九月二日
- 一、申込金拾圓申込の際は視察團の區別を明示
- 一、殘金拂込期日 九月十日申込金を差引たる殘額
- 一、案内者 當所員並朝鮮線内は鐵道局員滿洲線内は滿鐵社員同行

### ●夏蜜柑の施肥に就て

成澤町 技手

追々夏蜜柑の施肥期節となりましたから配合法に付二三の例を擧げて當業者諸氏の御參考に供したいと思ひます

夏蜜柑の肥料は元肥として春一回に施すよりは春と秋との二回に分肥した方が經濟でもあり且つ肥効(キ、メ)もあるものであります人間が朝一度に澤山に喰ふて晝食を抜にして晩まで能く働くと云ふことは困難なと同様で蜜柑の樹も一度に喰ひ溜めをするよりは朝も喰ひ晝にも喰ふ方が健康上から云ふても亦經濟の上から見ても無論よろしいのでありますそこで其の施用法に付興津の試驗場の成績に依りて



見ますと例へば十貫目の肥料を與へる場合には三月  
中若くは四月上旬の中に其三分の二即ち六貫目を施  
し残りの四貫を秋十月の末頃から十一月末頃迄に施  
肥すると柑果も肥大になるし樹も亦寒氣と戦つても  
敗けないことになり従つて來年の成績も亦宜しいと  
云ふ譯であります

夏蜜柑の肥料には勿論、窒素、磷酸、加里、石灰、  
鐵、苦土、硅酸と云ふ様な養分が必要でありますが  
其の中で特別に與へなくとも宜しい性分もあります  
又絶對に與へねばならぬ養分があります人間として  
も米麥肉類魚類或は酒菓子煙草と云ふ様に色々のも  
のが入用でありますが生活上どうしても無くてはな  
らぬものは米、麥、魚類、味噌、蔬菜の類で菓子や  
煙草や酒はなくとも差支は無い蜜柑も此の様に無く  
ては充分に生育することの出來ぬ養分は窒素、磷酸  
加里及び石灰の此の四つであります故に此の四つの  
養分を合理的に配合して與へると云ふことが最も肝  
要であります別けて磷酸と云ふ養分は蜜柑に極めて  
必要のものであります

と云ふ様の種類であります此の種の肥料を是非十分  
に施さなければなりません過磷酸石灰の中には磷酸  
を澤山に含むで居ります而して此の肥料は値段が割  
合に安いから得な様ですが其の實蜜柑の肥料として  
は面白くありません是よりも蒸製骨粉といふて牛や  
馬の骨を蒸して能く細かく砕いた肥料の方が少しは  
高いけれども蜜柑の爲には宜いから之を買つて與へ  
た方が宜しい此の肥料にも色々ありまして窒素とい  
ふ性分や磷酸と云ふ性分を含む量か異つて居り値段  
も亦色々になつて居りますから只蒸製骨粉と名計り  
聞いて値段が安いと思つて買ひますと其の肥料の中  
に含む性分が少なく損をする事があります最初  
の内は分り難いから愈々買入るときには諸氏が共同  
してそして技術員に見て貰ふなり試験場で分析して  
貰ふなりしますれば一番確實で安心して使へる譯で  
あります

が強くなれば根を害して遂に樹の生育を害するので  
あります之れを中和し安心して栽培して行くには石  
灰を與へるに限りまず第二には樹が丈夫に出來て柑  
果も亦品質が良く且つ貯藏に耐へるのでありますこ  
の石灰は他の肥料を施す前若は後に蜜柑園一面に一  
反歩當り十五貫乃至二十貫を振り蒔いて耕耘すれば  
よいのです、折角諸氏が熱心に蜜柑を作つては居ら  
れますがどうも肥料が足りません又同じ金圓を出し  
て肥料を與へても配合が合理的でない爲に余程損を  
して居る向もありますから例へば人が病氣のとき一  
日分の藥を二回にも三回にも呑んだでは効力が無い  
又三日分を一日に呑んだとて夫れだけ早く全快する  
もので無いのみならず却つて害を惹き起す様になり  
ますから余程注意が必要であります結局諸氏が今日  
與へて居る量よりは幾分増して與へなければなりま  
せんとして收量を増さねばなりません收穫を増すに  
は勿論耕耘管理其の他色々の注意をしなければなり  
ませんか肥料の力は多大であります勿論お金の都合  
もあることですが肥料だけは十分に與へなければ却  
つて損になります

然らば肥料を施すにどんな風にしたらよいかといふ  
ことになりませんが柑橘は平坦肥沃の地に植付けても  
可なり多くの肥料を施す必要があるまして數十年來  
荒廢してあつたものに至りては出來る丈け有機質に  
富む肥料を多く施す必要がある有機質肥料としては  
先づ堆肥であるがどうしても之れを造ることが出來  
ぬ場合には所謂雜肥でよろしいから掃き溜めや其の  
他の有機物なれば何んでもよろしい是等は總て堆積  
腐敗せしめ肥料として施用すべきである、若し雜草  
が澤山あれば之れを堆積して風呂水や人糞尿其の他  
酸酵を促すものを混ぜて二三回積返しを行へば腐熟  
して立派な肥料が出來る瘠せた畑では懸命に此の堆  
肥又は雜肥を施用する様にしなければならぬ若し  
是等の肥料を施さないど土壤の吸收力は増加せず土  
中に於ける微菌の繁殖も少なく大豆粕其の他の所謂  
金肥を施しても其の分解が悪く従つて効能が能く現  
はれないのであります

普通原肥として施すものは堆肥、厩肥、綠肥、雜肥  
の外大豆粕其の他各種の油粕類、魚搾粕、蛹搾粕、  
米糠、蒸製骨粉、過磷酸、石灰、木灰、硫酸加里等

此の外動植物の廢物や粕類杯をも施用するのである。そこで栽培家は附近に於て安く求め得らるる肥料を施用する様にしなければならぬ併し大豆粕は窒素肥料中値段も安く且つ求め易いので最も多く普通に施用せられて居るがこの大豆粕と魚肥とを比較して見ると大豆粕を施せるものは果實の品質に於て多少劣る様である、依つて幾分魚搾粕等と混用することとは必要である。

樹令	種類	貫目	升目	價額	窒素	磷酸	加里
五年生	大豆粕	九、〇〇〇	四、〇〇〇	三、一五〇	〇、五八五	〇、一〇八	〇、一八〇
	木 鯨 粕	六、〇〇〇	二、七〇〇	三、六〇〇	〇、五四〇	〇、二四〇	一、〇八〇
	木 灰	一八、〇〇〇	六、二〇〇	〇、九〇〇	—	—	—

原肥として施用するがよい。最近石灰窒素を夏蜜柑園に施して大失敗をきたした例もある。これは施肥後二週間位たつて初めて其の効果を表はすものにして施肥當時には有害なる作用をなし根の皮もむける様になる。従つて葉も落るといふのであるがこれらは一度泥土に混合して二週間も立つて後施す様にすればよい。これは畑の所々に泥土を置きそれに混合して二週間位たつて後園全体に擴げれば非常に効果のあるものである。普通野菜畑とか苗代などに施せば害虫及病害などの驅除となり而して二週間後に播種するときは作物の生育も頗る良好なるものである。

斯の如き肥料もあること故施肥するには其の性質をよく見てやるがよい、これ等のことに就いてはあとで申し上げますが先づ一反歩に施肥すべき量を次に記載して諸氏の參考に供すること、致します。

樹令	種類	貫目	升目	價額	窒素	磷酸	加里
十年生	蒸製骨粉	四、五〇〇	一、二二〇	一、八九〇	〇、一五七	一、〇三五	—
	大豆計	三七、五〇〇	一三、九一〇	九、九〇〇	一、二八二	一、三三三	一、二六〇
	木 鯨 粕	二〇、〇〇〇	八、八九〇	七、〇〇〇	一、三〇〇	〇、三〇〇	〇、四〇〇
	木 灰	九、〇〇〇	四、〇〇〇	五、九四〇	〇、八一〇	〇、三六〇	—
	蒸製骨粉	二五、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、二五〇	—	—	一、五〇〇
	大豆計	六三、〇〇〇	二五、一四〇	一七、九七〇	〇、三三五	二、〇七〇	—
	木 鯨 粕	二五、〇〇〇	一一、一一〇	八、七五〇	一、六二五	〇、三七五	一、九〇〇
	木 灰	一五、〇〇〇	五、三三〇	七、九二〇	一、〇八〇	〇、四八〇	〇、五〇〇
	蒸製骨粉	一五、〇〇〇	五、〇〇〇	六、二二〇	〇、五二五	三、四五〇	—
	硫酸加里	二五、〇〇〇	一二、五〇〇	一、二五〇	—	—	一、五〇〇
	大豆計	八一、〇〇〇	三二、七九〇	一、九六〇	—	—	一、六〇〇
	木 鯨 粕	三〇、〇〇〇	一三、三三〇	一〇、五〇〇	三、二二五	四、三三五	三、六〇〇
	木 灰	一八、〇〇〇	八、〇〇〇	一、二八〇	一、九五〇	〇、四五〇	〇、六〇〇
	蒸製骨粉	一五、〇〇〇	五、〇〇〇	六、三〇〇	〇、五二五	三、四五〇	—
	大豆計	一三、〇〇〇	四、六三〇	三、一八〇	—	—	三、〇〇〇
	木 鯨 粕	四〇、〇〇〇	一七、七六〇	一三、〇〇〇	四、〇九五	四、六二〇	三、六〇〇
	木 灰	一八、〇〇〇	八、〇〇〇	七、六八〇	二、六〇〇	〇、六〇〇	〇、八〇〇
	蒸製骨粉	二五、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一、二五〇	—	—	—
	大豆計	一〇、〇〇〇	三、七六〇	七、六八〇	一、六二〇	〇、七二〇	—
	木 鯨 粕	—	—	—	—	—	—
	木 灰	—	—	—	—	—	—
	蒸製骨粉	—	—	—	—	—	—
	大豆計	—	—	—	—	—	—
	木 鯨 粕	—	—	—	—	—	—
	木 灰	—	—	—	—	—	—
	蒸製骨粉	—	—	—	—	—	—
	大豆計	—	—	—	—	—	—

三十年生		木		蒸製骨粉	
種類	貫目	升目	價格	窒素	磷酸
大豆粕	三〇,〇〇〇	三三,〇〇〇	一,九五〇	四,五〇〇	六,〇〇〇
木	七〇,〇〇〇	一四,〇〇〇	二八,〇〇〇	五,九七〇	〇,六〇〇
計	一〇〇,〇〇〇	四七,〇〇〇	五六,〇〇〇	一〇,四七〇	六,六〇〇
大豆粕	二五,〇〇〇	二一,〇〇〇	四,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇
木	四〇,〇〇〇	一六,〇〇〇	二四,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
計	六五,〇〇〇	三七,〇〇〇	四八,〇〇〇	三,〇〇〇	三,〇〇〇
大豆粕	二〇,〇〇〇	一六,〇〇〇	四,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
木	五〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
計	七〇,〇〇〇	三六,〇〇〇	六〇,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇
大豆粕	一五,〇〇〇	一二,〇〇〇	三,〇〇〇	〇,九〇〇	〇,九〇〇
木	三〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	二十,〇〇〇	〇,九〇〇	〇,九〇〇
計	四五,〇〇〇	二二,〇〇〇	四二,〇〇〇	一,八〇〇	一,八〇〇
大豆粕	一〇,〇〇〇	八,〇〇〇	二,〇〇〇	〇,七〇〇	〇,七〇〇
木	二〇,〇〇〇	七,〇〇〇	一三,〇〇〇	〇,七〇〇	〇,七〇〇
計	三〇,〇〇〇	一五,〇〇〇	三五,〇〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇
大豆粕	五,〇〇〇	四,〇〇〇	一,〇〇〇	〇,五〇〇	〇,五〇〇
木	一〇,〇〇〇	三,〇〇〇	七,〇〇〇	〇,五〇〇	〇,五〇〇
計	一五,〇〇〇	七,〇〇〇	一四,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇

次に二十五年生以上の蜜柑に對し左の通り色々の肥料を配合して見ますから御覽下さい

種類	貫目	升目	價格	窒素	磷酸	加里
大豆粕	四〇,〇〇〇	二七,七八〇	一〇,〇〇〇	六,〇〇〇	八,〇〇〇	〇,六〇〇
木	二五,〇〇〇	一一,二〇〇	一四,〇〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇	〇,六〇〇
計	六五,〇〇〇	三八,〇〇〇	二四,〇〇〇	七,四〇〇	九,四〇〇	一,二〇〇
大豆粕	三〇,〇〇〇	二二,〇〇〇	八,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇	〇,六〇〇
木	一八,〇〇〇	六,〇〇〇	二四,〇〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇	〇,六〇〇
計	四八,〇〇〇	二八,〇〇〇	一〇,〇〇〇	五,四〇〇	五,四〇〇	一,二〇〇
大豆粕	二五,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一四,〇〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇	〇,六〇〇
木	七〇,〇〇〇	二八,〇〇〇	四二,〇〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇	〇,六〇〇
計	九五,〇〇〇	三八,〇〇〇	五六,〇〇〇	二,八〇〇	二,八〇〇	一,二〇〇
大豆粕	二〇,〇〇〇	一六,〇〇〇	四,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	〇,六〇〇
木	五〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	〇,六〇〇
計	七〇,〇〇〇	三六,〇〇〇	三四,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	一,二〇〇
大豆粕	一五,〇〇〇	一二,〇〇〇	三,〇〇〇	〇,九〇〇	〇,九〇〇	〇,六〇〇
木	三〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	二十,〇〇〇	〇,九〇〇	〇,九〇〇	〇,六〇〇
計	四五,〇〇〇	二二,〇〇〇	四二,〇〇〇	一,八〇〇	一,八〇〇	一,二〇〇
大豆粕	一〇,〇〇〇	八,〇〇〇	二,〇〇〇	〇,七〇〇	〇,七〇〇	〇,六〇〇
木	二〇,〇〇〇	七,〇〇〇	一三,〇〇〇	〇,七〇〇	〇,七〇〇	〇,六〇〇
計	三〇,〇〇〇	一五,〇〇〇	三五,〇〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇	一,二〇〇
大豆粕	五,〇〇〇	四,〇〇〇	一,〇〇〇	〇,五〇〇	〇,五〇〇	〇,六〇〇
木	一〇,〇〇〇	三,〇〇〇	七,〇〇〇	〇,五〇〇	〇,五〇〇	〇,六〇〇
計	一五,〇〇〇	七,〇〇〇	一四,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,二〇〇

種類	貫目	升目	價格	窒素	磷酸	加里
大豆粕	四〇,〇〇〇	二七,七八〇	一〇,〇〇〇	六,〇〇〇	八,〇〇〇	〇,六〇〇
木	二五,〇〇〇	一一,二〇〇	一四,〇〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇	〇,六〇〇
計	六五,〇〇〇	三八,〇〇〇	二四,〇〇〇	七,四〇〇	九,四〇〇	一,二〇〇
大豆粕	三〇,〇〇〇	二二,〇〇〇	八,〇〇〇	四,〇〇〇	四,〇〇〇	〇,六〇〇
木	一八,〇〇〇	六,〇〇〇	二四,〇〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇	〇,六〇〇
計	四八,〇〇〇	二八,〇〇〇	一〇,〇〇〇	五,四〇〇	五,四〇〇	一,二〇〇
大豆粕	二五,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一四,〇〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇	〇,六〇〇
木	七〇,〇〇〇	二八,〇〇〇	四二,〇〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇	〇,六〇〇
計	九五,〇〇〇	三八,〇〇〇	五六,〇〇〇	二,八〇〇	二,八〇〇	一,二〇〇
大豆粕	二〇,〇〇〇	一六,〇〇〇	四,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	〇,六〇〇
木	五〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	〇,六〇〇
計	七〇,〇〇〇	三六,〇〇〇	三四,〇〇〇	二,〇〇〇	二,〇〇〇	一,二〇〇
大豆粕	一五,〇〇〇	一二,〇〇〇	三,〇〇〇	〇,九〇〇	〇,九〇〇	〇,六〇〇
木	三〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	二十,〇〇〇	〇,九〇〇	〇,九〇〇	〇,六〇〇
計	四五,〇〇〇	二二,〇〇〇	四二,〇〇〇	一,八〇〇	一,八〇〇	一,二〇〇
大豆粕	一〇,〇〇〇	八,〇〇〇	二,〇〇〇	〇,七〇〇	〇,七〇〇	〇,六〇〇
木	二〇,〇〇〇	七,〇〇〇	一三,〇〇〇	〇,七〇〇	〇,七〇〇	〇,六〇〇
計	三〇,〇〇〇	一五,〇〇〇	三五,〇〇〇	一,四〇〇	一,四〇〇	一,二〇〇
大豆粕	五,〇〇〇	四,〇〇〇	一,〇〇〇	〇,五〇〇	〇,五〇〇	〇,六〇〇
木	一〇,〇〇〇	三,〇〇〇	七,〇〇〇	〇,五〇〇	〇,五〇〇	〇,六〇〇
計	一五,〇〇〇	七,〇〇〇	一四,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,二〇〇

右の配合の例に依ると第四例の大豆粕、過磷酸石灰、木灰の三つを配合した物の値段が一番安いのです併し大豆粕や過磷酸を澤山に施したものは、どうしても蜜柑の品質が良くありませんからたとへ價が安くとも面白くない次に安いのは第五例の大豆粕、蒸製骨粉、木灰の三つを配合した物です是は第四例よりも樹の爲によろしいのです矢張り大豆粕が餘り多いから面白くありません第三例の鯨粕、過磷酸石灰、木灰の三つを配合したもの及び第六例の鯨粕、蒸製骨粉、木灰の三つを配合したものは餘り値段が高くな

て損です第二例は少々配合が良く出来て居りますが過磷酸石灰も多く且つ値段も安いと云ふ方ではありませんから少々面白くありません第一例は値段も安く大豆粕も餘り多くなく配合の具合が一番宜ろしいから最も適當なる配合です故に諸氏はなるべく第一例に準じて肥料を施して下さい  
これら肥料を配合するには第一其の肥料の含有性分を會得して居らねばなりませんから肥料分析表の主なるものを抜萃して置きます

本町に於ける主用肥料の成分(十貫目中)

肥料名	窒素	磷酸	加里	價格
人糞尿	五七五	三三	二七五	?
牛糞混合	三九九	五	二二	?
鶏糞	五三三	六	四五	?
山草乾	五五四	一五	四五	?
鯨粕	五五五	四一	四六	?
蒸製骨粉	九	四	三	六、六〇
大豆粕	六五五	二貫三	二貫	四、二〇

菜種	粕	二貫五匁	二貫	四四五匁
木	灰	一貫	一貫	〇、五〇
藁	灰	一貫	四四五匁	〇、五〇
硫酸	アンモニヤ	二貫目	一貫	四、五〇
硫酸	加里	一貫	四貫九七匁	四、九〇
過	燐	一貫	一貫	一、五〇
石	灰	一貫	一貫	一、五〇
米	糠	二貫	三三三匁	一、五〇
石灰	窒素	一貫七五匁	一貫	二、四〇
堆	肥	五匁	二匁	？
塵	芥	一匁	六匁	？
鱈	搾	九匁	五匁	五、四〇
石	灰	一匁	五匁	〇、五〇

右に記載したものは標準を示したものであつて樹木は決して同様に生長結實するものでないから實際施用するときは一々果樹の状態を見て適宜増減施用しなければなりません、殊に若樹の間は肥料を多く施しても無暗に伸び過ぎることも又落果することも殆んどない故に資金が豊富で樹木を早く生長結實せし

め様とするならば十一、二年生迄は右に示した標準量に六七割も多く施用しても差支ない施肥量が非常に多いと夏梢が長く伸びるが夏秋の交先端を幾分剪定して置けば少しも差支ありません殊に塵埃の如きは思ひ切つて多量に施用するがよい堆肥や草類亦可なり澤山施用しても差支ない  
次に肥料は如何に施用するかと云ふに普通栽培家の行ふ所は枝下或は幾分幹に近く巾一尺位深さ三寸位に樹の周囲に溝を造り之に肥料を施して土を掛けて置けばよいのである、尙一步進んだ方法はこの溝の外幹より放射状に四つの溝を造りてこれにも施すのであるがこれは幹の近くには少なくし遠くになるに従つて量を増すのである、樹が生長し其の枝が栽植巨離一杯に伸びたときには樹と樹の中間に施すか又は園一面に肥料を撒布し小刻みに鍬にて肥料を打込むのも一方法である、又二尺置き位に溝を造りて施すこともある、何れにしても幹に余り接近して施すのは効果が少ないからこの點に注意すべきである  
次に遅効肥料即ち藁堆肥の如きは年内餘り寒くならぬ内に手廻して能く施す方がよい追肥は六月下旬頃

に施用するがよい  
緑肥用の蠶豆の播種は十月中旬頃であるを以て四月上中旬頃には立派に繁茂するからこれを畑に蒺き込めばよいのである大豆は四月下旬から五月上旬に播種すれば八月上旬に繁茂するこれを刈り或は抜き

て畑に蒺き込むのである、年々この蠶豆大豆を作り緑肥として蒺き込むと土地は益々肥沃となり樹勢は大いに増進するから出来る限り此の方法を實行しなければなりません

財政 經濟

昭和四年度七月分納税成績

七月分の納税は國稅宅地租同附加縣町稅第一期分所得稅第一期分附加縣稅及特別稅戶數割の數種にして内宅地租及所得稅は完納其の他特別稅戶數割を完納したるもの左記二十三區なり

- 川島第一區 土原第二區 江向第二區 河添第一區
- 河添第二區 堀内第二區 南片河南古萩區
- 目代區 中津江區 中倉第一區 中倉第二區 後地區
- 河内區 笠屋區 大屋區 沖原區 霧口區

- 金谷區 東木間區 山田第一區 山田第二區 小原區
- 滯納者一名の爲完納に至らざるもの
- 上野區 鶴江第一區 西木間區 北木間區

印紙稅法の注意

印紙稅法を普及宣傳の爲左記「印紙稅の注意」なる印刷物を關係者に配付し常時見易き場所に之を掲出すべき様注意を與へたり

印紙税の注意

証書帳簿には忘れず印紙を貼つて消印すること  
 受取書 一通に付 参銭  
 (註拾圓未満又は營業に關しない受取書には印紙の貼用を要しませぬ)  
 通帳 一冊一年以内の附込に對し  
 普通通帳 五銭 預金通帳 参銭  
 判取帳 一冊一年以内の附込に對し 五拾銭  
 物品切手 一通に付 参銭  
 罰金科料 不貼用は一通又は一冊毎に 参圓以上  
 不消印は一箇毎に 貳圓

以上は印紙税法中の主な証書帳簿を挙げたのですが此の外に印紙を貼らねばならぬもの又は印紙を貼らなくてもよいものがありますから印紙税法の全文御入用の方は稅務署に御申込になれば無料で配付されます

萩町の納税成績に就て

齊藤萩稅務署庶務課長

徴收に經驗の乏しき自分は萩稅務署庶務課勤務を命ぜられ去月十九日着任、早々所得稅や宅地租の納期に突當り而かも町稅戶數割と一所で其の額が可なり大きいのと恰も住吉神社の夏祭りど納期が競合して居た關係上非常に成績が悪い丁度納期の末日に未納者を調べて見ると次の様な現狀で全く自分は面喰つた

總納稅人員	六二七	宅地租	四、五五	戶數割	六、七〇
未納人員	一三六	所得稅	二、二七	全上附加稅	一、八八
合	二、〇〇	合	二、〇〇	合	二、二七

元來自分は未知の萩には非常に敬慕して居た現に慕つて居る一人である云ふ迄もなく勤王の發祥地で隨て維新當時より今日に至る迄遠くは吉田松陰先生を初めとし近くは田中、久原、兩閣下の如き國家の大功勞者大忠臣を出し勿論個性の發露と一口に謂へば夫れ迄なれども斯くも多くの偉人傑出せる萩町全体には張り切れる丈けの國家觀念が熾烈なりし結果で

あることを確く信するものである然るに此の萩に此の結果を見るのは聊か自分としては物足りない感じがする由來日本人の通僻は熱し易く冷へ易い一朝有時の時に當つては或は身命を抛ち或は私財を擧げて國家に捧ぐるも否らざる時は誠に冷淡である併し有時の際のみ身命乃至私財の提供のみが國家を愛護する所以でもあるまい平時に於て國民の義務を完全にしてこそ善良なる國民で亦忠良なる臣民であると思はれる督勵を受けた人々の内で最も甚しいと

感じたのは「今は金がないから出來たら持つて行く」と云ふ様な不用意不謹慎な言葉を聞たのもある斯くの如き人も萩町民の一人なる以上は靜かに考へられら必ず過去の萩町が生んだ勤王志士の人々に對し濟まないと思ふ良心が出づることと思ふ試に大正九年分と昨年の萩署の國稅納稅狀態を比較して見ると次の様に意納額が非常に増加せることが認められる國稅に於てすら斯くの通町稅に於ては謂はすもが

地	租	所	得
總納稅人員	未納人員	割	合
大正九年	一九六、三三	二五	一三、八三
昭和三年	一七二、三〇七	六九四	九、五〇

所	得	稅	營	業	稅
總納稅人員	未納人員	割	合	總納稅人員	未納人員
大正九年	二六	〇、〇三	三、八五	一五	〇、〇四
昭和三年	七九	〇、〇九	四、八九	三三	〇、〇九

以上の様な風で特に最近に於て増加の傾がある勿論近時の不景氣と思想界の變遷に伴ふ結果かとは思はるゝけれども然し我萩町としては近く山陰海岸線の開通を控へ同時に市制施行の氣運にも向ひつゝあると聞く今日此際以上の如き現象のあるは決して見通すべきことではあるまいと思ふ勿論自分の如き無經驗者が云ふ迄もなく町當局に於て既に最善の方法を

一、各區に於て納稅貯金組合を起し日懸乃至月懸貯金に依り納期に亭主の不在なる爲或は零碎の税金である地租の如きものにて失念に基く滞納等兎に

角不用意の滞納を組合に於て完納する如くし各區競争して獎勵金の交付を爲すも一の方法ならん

一、怠慢に因る滞納者に就ては各區共未納者を掲げ出し社界制裁を加味した督勵に替へること

一、納期を過ぐるときは未納者たることを認識出來得る如く(赤板)等に納税未済と記載各戸前最も見易き場所に掲出爾後納付済に至れば直に取除く様にすること

以上の如く細目別に之を掲ぐれば際限はない兎に角自發的に反省を促し租税道義心を喚起して成績の回復向上を計ることは却て六ヶ敷かとも伺はれる寧ろ幾分公衆に對し制裁的の督勵方法により滞納を防遏し漸次之が根絶の途を講ずるの捷徑ならんか識者の御一考を乞ふ 終り

### ●國民經濟の立直し

#### 金解禁の決行について

(官報雜報大藏大臣井上準之助)

#### (一)國民經濟の立直し

日本の經濟界の現状 わが國の經濟界はいまどうなつてゐるか、わが國は經濟上如何なる状態に立つてゐるかについて、われ／＼の見るところを述べしかしてこの經濟界と、この國の立場に對して、如何なる政策を實行しようとしてゐるかを述べよう。

現今の日本の經濟界は安定してゐない。日本の經濟界は解決されようとして、解決されてゐない幾多の問題がある。金解禁の如きもその一つである。

わが國の財界は、大正九年財界の反動、大正十二年の大震災火災から引續いてだん／＼萎靡不振の淵に深みぬ深みぬと沈みつゝあるのである。しかししていまなお、さらに將來に曙光を認めることができないのである。經濟界は今日は萎靡縮少しつゝある現状であつて將來の發展に對しては望みが薄いのである。

世界各國に對しても立後れていて折角世界的に獲得した地盤からだん／＼退歩しつゝあるのである。

われ／＼はこの日本の不景氣この日本の財界の不安定を國民と共に打開して將來の發展を圖りこの經濟界の不安定を安定させこの不景氣を轉廻して、好景氣に立て直したいと思ふのである。廣くゆうと日本

國全体の立て直しを、われ／＼の大なる使命として立つたのである。

今日の經濟界の不安定不景氣の由來 しかれば現今のこの日本經濟界の不安定不景氣はどうして出て來たか、これについてその所見を述べて見よう。

周知の如く大正三年に世界戦争が始まつてから日本の經濟界は大膨張を來たし大發展を來たして、通貨膨張物價騰貴生活費の昂上となつて、國民全体の收入も非常に殖ねその結果、日本の經濟界の組織の根本が變つたといつてよい位に日本の經濟界は變つたのである。今日よりその當時を顧みると、その當時は儲け易かつた、その頃の收入は非常に多かつた。従つて相當に樂な生活もし、また相當の餘裕もあつたといふことを思い起されるのである。この間どれ程の收入が殖ねたか、どれ位樂な生活をしたかを數字で説明することは困難であるが、いま例を政府の財政にとつて説明すると、最も簡明な觀念が得られるのである。

戦争の開始した大正三年の政府の歳入は七億三千万圓であつた。しかるに歳入がだん／＼殖ねて大正十

一年には二十億八千万圓とゆう數字にのぼり、そうして實に六億圓以上の歳入超過を生じたのである。

政府歳入の決算額が七億三千万圓から二十一億圓にのぼつたのはこれを個人にたとへて見ると、年七百三十圓の收入が、七年後に二千百圓となつたのと同様である。従つて生活を樂にし、他にいろ／＼と金を使つても、なほ手元に金が残り、貯蓄も相當にできたといふ状態であつた。しかるにヨーロッパ戦争は大正七年の暮におわつてそれと同時に日本の對外的經濟關係はだん／＼と違つて來て、遂に大正九年の財界の反動、引續いて大震災火災があつて、これでは日本は非常な打撃を被り、今までの状態は一變したのである。

これまで多かつた收入はだん／＼と減じて大正三年四年からずつと殖ねる一方の收入は大正十一年位を境として次第に下つて來て、今日にいたるまで、日本の政府なり、國民一般なり、經濟界の總てにおいて收入は減る一方である。これを政府の財政について見ると、大正十一年に殆んど二十一億圓あつた歳入は、昭和四年度においては九千百万圓の公債收入







昭和四年度陸軍簡閲點呼に就て

昭和四年度萩町に於ける陸軍簡閲點呼を八月七日三見小學校に於て山田分會員の點呼は、八月二十一日より二十三日迄三日間明倫小學校に於て椿東、越ヶ濱、萩、椿各分會員の點呼を執行せらる點呼令達總人員四百三十六名にして就中二十六名の不參者あり

たるは甚だ遺憾とする所なるも參會に於ける呼名点呼の動作及學、實科共に從來稀に見る良好なる成績を擧げたり殊に實科に在りては既教育者の殆んど全部軍服を著用し未教育者に在りても軍服又は各種の洋服著用者多き爲部隊教練及分列式等諸動作に活氣を帯び遺憾なく實施を終了することを得たるは洵に喜ぶべき次第なり將來は常時の會合特に點呼に際しては一般に軍服著用の勵行を切望して止まず

本籍地	事故區分	徵收年次	兵科等級	氏名
萩町大字山田二、一三〇番地	所在不明	大正一一	後輜輸	北島新治
山田四、六五五番地	全	昭和一二	補輜輸	岩本重里
山田三、五九三番地	全	全	全	武田久吉
山田四、六七八番地	全	大正一四	全	平井久一
椿東三、〇六三番地	全	全一一	豫輜一	藤田幸輔
米屋町六四番地	全	全一四	補輜輸	伊藤益信
古萩一二番地	全	大正九	後歩一	山中本武夫
椿東二、三二六番地	全	昭和二三	補輜輸	中山本武
細工町五一番地	全	大正七	後歩工	島田榮一
江向五四三番地ノ三	全	全一四	補飛行	木村英熊

昭和四年度萩町に於ける徵兵検査抽籤結果

本籍地	事故區分	徵收年次	兵科等級	氏名
上五間町二八番地	全	全一〇	後歩一	井町權十
南古萩二二番地	全	全一四	補輜輸	土井靜五
椿東四、九五五番地	全	全一五	豫砲一	前田靜夫
津守町二五番地	全	全一〇	後歩一	中村三郎
椿一、一五〇番地	全	全一四	補飛行	土屋五郎
椿東五八九番屋敷	全	全一七	後歩一	内田久兵衛
津守町二五番地	全	昭和八三	補二等縫工長	中村秀徳
堀内一〇五番地	全	全	全	佐伯久
平安古四六七番地	全	大正一四	豫輜輸	三浦久藏
平安古五四番地	全	全一四	補歩一	岡田俊輔
土原三〇五番地	全	全一一	補歩一	中村二
濱崎新町七六番地	病氣不參	全一一	全	大村寅
河添七七一番屋敷	全	全一四	補輜輸	岡村喜寅
山田五、三二五番地	全	全一一	後輜輸	宮守喜代
椿三、〇八七番地	全	全一九	後歩一	松田精治
平安古四一三番地	全	全一一	豫工上	長澄義治

步兵 甲 四二 乙 二〇 丙 三二 補助看護卒 甲 二乙 乙 二一

守 府	軍 鎮	吳 海	五 輜					卒 看 護	卒 看 護	輜 重 兵 第 五 大 隊	電 信 第 二 聯 隊	工 兵 第 五 大 隊											
			卒	輸	重	輜	輜																
主 計 兵	看 護 兵	機 關 兵	水 兵	第 五 期	第 四 期	第 三 期	第 二 期	第 一 期	步 四 二	步 一 一	步 七 九	步 七 八	電 二	工 五	野 五	步 四 二	步 一 一						
				全	全	全	全	全	昭 和 四 年 十 二 月 一 日	昭 和 五 年 九 月 一 日	昭 和 五 年 一 月 十 日	昭 和 五 年 一 月 十 日	昭 和 五 年 一 月 十 日	昭 和 五 年 一 月 十 日	昭 和 五 年 一 月 十 日	昭 和 五 年 一 月 十 日	昭 和 五 年 一 月 十 日	昭 和 五 年 一 月 十 日	昭 和 五 年 一 月 十 日				
時刻未定				午前九時				午前九時				午前九時				午前九時							
吳				廣 島				山 口				廣 島				山 口				廣 島			

工 兵	野 砲 兵	騎 兵
甲 乙	甲 乙	甲 乙
二	三	七
看 護 兵	機 關 兵	水 兵
甲	甲	甲
一	二	二
計	四〇四名	

◎昭和四年度徵兵入營期日一覽

步兵第四十二聯隊	步兵第七十九聯隊	近衛步兵第四聯隊	近衛騎兵聯隊	騎兵第五聯隊	野砲兵第五聯隊
昭 和 五 年 一 月 十 日	昭 和 四 年 十 二 月 一 日 (前期入營者) 昭 和 五 年 六 月 一 日 (後期入營者)	昭 和 五 年 六 月 一 日 (後期入營者)	昭 和 五 年 一 月 十 日	昭 和 五 年 一 月 十 日	昭 和 五 年 一 月 十 日
午前九時	午前九時 (下關集合日時未定)	午前九時	午前九時	午前九時	午前九時
山 口	龍 山	東 京	東 京	東 京	東 京

幹部候補生の入營期日(一年在營者に於て十月在營者に於て)

昭和四年十二月一日  
昭和五年二月一日

◎勤務演習召集

九月二十五日より十四日間歩兵第四十二聯隊へ召集せられたる者左の如し

歩兵 下士 二名  
大正八年徵集歩兵 三十三名

◎海軍豫備員任命

昭和四年七月一日

任海軍豫備機關中尉 萩 區 村上愛二郎  
任海軍豫備特務少尉 全 山根俊亮  
任海軍豫備機關兵曹長全 黒田俊彦  
任海軍豫備一等兵曹 椿東區 吉村庄三郎

通信

◎萩局電話通話區域擴張

八月八日、逓信省告示第二千二百四十九號を以て市外通話區域及普通通話料中左の通追加し、昭和四年八月十一日より之を施行する旨公布ありたり。

八月十九日、逓信省告示第二千三百十六號を以て呼出區域中左の通改正し昭和四年八月二十一日より之を施行する旨公布ありたり。

澤江萩間一通話時の普通通話料金 十五錢  
澤江萩越ヶ濱間全 全 十五錢

萩町(大字椿(字椿町、同金谷、同雜式町、同濁淵を除く)同椿東(雁島、同香川津、同新川、同鶴江同沼田口、同松本川端、同清水口、同玉太郎、同川原、同船津、同新道、同椎原台、同松本市、同沼田ヶ原、同城ノ越、同上野台、同上下野を除く)同山田を除く)

◎郵便切手刷色改正

◎八月二十七日付逓信省令第三十號を以て昭和四年九月一日より、四錢、八錢、二十錢、三十錢及五十錢各郵便切手の刷色を左の通改正し、従前のもので賣切れ次第賣捌くことゝなれり。  
四錢切手 橙朱色 八錢切手 鶯茶色  
二十錢切手 濃栗色 三十錢切手 淡橙、濃緑二色  
五十錢切手 赭黄、濃青二色

◎萩郵便局八月中行事

一、會計實地検査執行

萩局會計實地検査の爲廣島逓信局より横田、原、藤本三氏八月五日來局同日より八日まで四日間に涉り検査執行

一、保険口數達成祝賀會

萩局本年度簡易保險募集責任口數は壹千五百口保險料壹千壹百拾四圓の處八月二日を以つて募集口數壹千貳百六拾貳口保險料壹千壹百拾五圓七拾錢に達し年度初頭より僅々四ヶ月余にして斯の如く口數に於て八割四分強保險料に於ては既に豫定責任金額を凌駕するの好成績を收めたるは簡易保險の主旨全町に普及し一般の理解を得たる結果に外ならず國家社會の爲將又萩町の爲誠に慶賀に堪へず此の機會に於て心より斯業の伸展を祝する等と共に従事員平素の勞を稿ひ且つ今後の普及方法等を協議する爲此の意味に於ける茶話會を八月十二日正午より吏員寢室に於て開催せり。

一、北條局長廣島へ出張

八月二十七、八兩日廣島逓信局に於て開催の管内一、二等局長會議へ列席の爲二十六日出發二十九日歸着

一、精神修養講話開催  
 八月二十八日午前十時より十一時まで當地三千坊に於て布教中なりし本願寺布教師小田柿晃融氏を聘し吏備人に對し修養講話を又八月三十一日午前十時より中所囑託講師を招し約一時間に涉り修養講話を開催し吏備人一同聴講せり。

●萩郵便局昭和四年八月分事務取扱状況 ▲ハ減

種別	前年取扱數	本年取扱數	増減數
通常郵便物	引受 三二、四四	三九、八四七	七、四〇三
	配達 二六、二九〇	二四、五三三	一、七五七
小包郵便物	引受 一、八七六	一、八一六	▲六十
	配達 三、七〇二	三、六〇五	▲九七
電報	發信 三、二二〇	三、三四七	一二七
	著信 四、八七七	四、八〇三	▲七四
	中繼 二、一三三	二、五九九	▲四六六
爲替振出	口數 一、四〇六	一、四八五	▲七九
	金額 三、八四一、五〇七	六、八、九四〇	▲四、一五九、六三〇

爲替拂渡	貯金預入	貯金拂戻	保險契約申込	保險料徴收	年金契約申込	年金掛金徴收
口數 二、九二五	金額 二、〇二〇	金額 二、六六六、四九三	口數 五七	金額 一〇、二九〇	口數 一	金額 三五、六〇〇
金額 五、九四九、九〇五	金額 二、三九八、〇三〇	金額 三、〇九三、三九四	金額 四〇、〇〇〇	金額 五、二九二、〇三〇	金額 一	金額 七〇、四八〇
▲六、七九一、九二〇	▲三、六〇八、四三〇	八、六三三、二三五	▲二、三三〇	▲六、五五二、三三〇	▲一、三三四、二〇〇	▲三、四八〇
五〇	一七二	一七三	一六三、五〇〇	一、〇五六	一	一

土木交通

●火葬場道路改修

堀内區内町設火葬場に通ずる町村道の一部に狹隘なる箇所あり、不便不埒を以て、今回延長七拾四間の區間を幅員拾貳尺に擴張することとし、既に用地の買収を了し八月拾六日工事に著手、拾月中旬竣功する豫定なり。

●新川岩盤掘鑿工事

新川岩盤掘鑿工事は縣費の補助を受け、本年度に於て之を施工することと爲し、大津郡深川町植中孝一なる者と請負契約を締結、九月一日より工事に著手せり、右縣費補助金は總額金四千五百圓にして本年度の補助額は金壹千圓なり。

社會事象

●長門峽内發昌寺本尊入佛式舉行

長門峽金郷出合に建立せらるべき發昌寺の本尊とし

て田中義一男爵より寄進せられたるシャム國傳來の觀世音菩薩黃金像の入佛式は八月八日午前拾時半より本町享徳寺に於て執行。發起者總代林町長の挨拶本尊授受、献茶湯、田中男爵の口宣、導師香語、讀

經回向、焼香等の順序に依り拾壹時半終了したり尙萩町出身釜山府在住の大島芳輔氏は同日を以て普賢文珠の双幅を寄附せり。因に當日田中男爵の口宣左の如し。

私は一言御挨拶を致します。今日は炎暑にも拘らずよく御参拜下さいまして有難ふ存じます、茲に發昌寺の縁起を私から披露致したいと存じます、皆さんが御承知の通り長門峽の自然美が世間に段々擴まるに従つて此の雄大莊嚴なる自然の景色を見んが爲にアノ地方に赴く人が年々増加しつゝあるのであります而して斯の雄大なる景色を眺めるときに於ては自ら人心に一種の快感を興へられるのである昨今動もすれば思想界に混亂を來さむとする時に鑑み村上宏林師を始め有志の方々が此の機會に於て人心の濟度を計るといふことが適切であると考へられ、茲に思ひ立たれたのが此のお寺であります。私は村上宏林師外諸君の此の思ひ立ちに對し頗る同感を表するものであると同時に、お寺の建立は必ずや衆生濟度の上に有効のこと、思ひます之れが大体發昌寺建立の縁起である、而

して私が寄進した觀世音の黄金佛一体は先般シヤム國より佛舍利を寄贈せられて、今日は名古屋の日蓮寺といふ信仰最も厚い寺にそれが在ります。この佛舍利を日本に贈られたことに就いては岩國町の弘津節山師が此の間に於て努力せられ偉大な功勞があつたのであります。此の功勞に報ゆべく、シヤム國皇帝より贈られたものが此の黄金佛であつて過日私に之を贈られたのであります、私は村上師はじめ有志の諸君が此の長門峽に於て一宇の建立といふことが時期に適したものであり同感であるから、此の黄金佛を寄進した次第であります。斯様に各方面の同情が集まつたことは村上師はじめ有志諸君の盡力の賜であります、又その熱心なる徳の然らしむるところであると、私は深く喜んで居ります。今後共村上師はじめ有志諸君も亦これに御同情下さる皆様の力によつて、この折角建立せられた縁起の趣旨が徹底するやう私は期待するものであります、皆様も茲に参拜せられたのでありますから、十分此の寺の縁起の目的を達成する上に付どうか御配慮を賜はつたならば觀

世音も御満足のことゝ存じます、今日は炎暑の際御参拜下されたるに對し改めて御禮を申し上げます (文責筆記者に在り)

### 堀内公會堂建設

萩町堀内區親交會に於ては豫てより、公會堂建設計劃中の所、敷地は毛利公爵家より借受くることゝして其の建設地等も決定したるに依り、八月十八日をトし、地鎮祭を行ひ直ちに工事に着手することゝなれり。

### 住吉祭お船うた

一、めーんでたーのまーたーのねんよーほほんほん  
ほんほほわーかーわーだーうほうほうはもーわよ  
わーわんこのこのわーわーさーかーはははゆー  
る。のーんよーんうほうほうはほほほほはほほ  
ほほーはーはーもーお、うめんもー  
二、やーわれがーすみーかーはー、たんたんたんば

のーやまのたにあひたにぞこのーさてーしばーは  
はのーやれいおーりーのーまーたーのーねんよー  
ほほんほんほほんはたーりー、いーやーうほうほう  
うほもーわよわーわんこのこのわーさーかー  
はほおーいーのーんよーんうほうほうほほほほ  
ほーほほほほほわよのーまーたーわーわーいー  
三、いやあーしがーのーからさきーなるーひとつ  
のまーつはからころだんがすすじりもじりりー  
よんごーざーる。まーつんづるきんづるちりたら  
りん いやすじりりたらはんもじりりたらおんち  
りつるてれてんきけーひとほほりーやれじよるー  
やーじよるじよるしゆんれーがのーねんよーほほ  
んほんほんほほあーいーあーしーいひいひいひも  
ーわよわーわんこのこのわーわーやーやはほほ  
いーてのーんよーんうほうほうほほほほはほほ  
うーれーわーわーわーわーおまあーつ  
四、いやーみなもーごぞんーじーごんざりまーし  
よーがなーうらーのーしよわんーのこーまーつ  
のーこねだーにもすがとまりてあすーのよーあー  
けーにはなーきりんやきりんやわーきりいきりん

きりどもーのーさてーなくよーどりわーなくま  
いーがーあーまたのーわんよーほんほんほんほ  
ほどーりーなーくーうはうはもーわよわーわ  
んこのこのこのわわーみーやはまーあのーのー  
んよーうほうほうははーほほほほほほほほほ  
ーほーどーどぎーすー  
お止め  
のーんでーんたーいーいーやーわかーわーたーも  
ーやよいー(終り)

◎ 公人及私人

宇部市渡邊祐策氏本縣選出代議士庄晋太郎氏美禰郡  
各町村長は歸萩中の田中、久原前兩相訪問の爲八月  
三日來萩

國吉宇部市長は田中男爵を訪問の爲八月四日來萩  
貴族院議員林平四郎氏は田中、久原前兩相を訪問の

渡邊政友會本縣支部長林貴族院議員兒玉、西村、庄  
榊谷各本縣選出代議士は政友會阿武郡區及び阿武郡  
西部々會の各總會に列席の爲八月十一日來萩

元明倫小學校長谷井磯太郎氏は土原十日市筋の假寓  
に於て八月十一日逝去

田中男爵家執事高村孝助氏は八月十二日出發歸京

本縣選出代議士西村茂生氏は七月二十九日來萩滞在  
中の處八月十二日玖珂郡岩國町に歸郷

島谷汽船株式會社高本重役は田中、久原前兩相訪問  
並社務の爲。代議士伊藤仁太郎氏は田中、久原前兩  
相訪問の爲何れも八月十三日來萩

元埼玉縣知事藤山竹一氏貴族院議員中村純九郎兩氏  
は田中、久原前兩相訪問並史蹟見學の爲。秋葉本縣  
警務課長は管内巡視並史蹟見學の爲何れも八月十五

爲、矢崎山口地方裁判所長は管内巡視の爲八月六日  
來萩

本縣選出代議士兒玉右二氏は田中男爵家法要に列席  
の爲、増田本縣農林主事補は副業品販賣幹旋研究會  
に列席の爲、防長武學生養成所山口支部長松田陸軍  
少將は同養成所の狀況を田中男爵に報告の爲何れも  
八月七日來萩

彦島町長岡乙治郎下松町久原用地部主任岡村勇二兩  
氏は田中、久原前兩相訪問の爲八月七日來萩

前第六師團長福田陸軍中將は八月八日歸萩山田區中  
渡しに假寓せらる

防府町在住山本芳輔少將は田中男爵を訪問の爲八月  
九日來萩

門司鐵道局旅客掛藤井康二氏は鐵道配達區域調査の  
爲八月十日來萩

日來萩

杉江本縣衛生課長は衛生事務の爲、熊本遞信局員上  
原惠氏は管海官廳事務の爲八月十七日何れも來萩

滞在中なりし田中男爵令息龍夫氏令女橋本政子嬢は  
素水會本部幹事熊川千代喜氏と共に八月十八日出發  
下關經由海路歸京せらる

政友會總務島根縣選出代議士島田俊雄氏は田中、久  
原前兩相訪問の爲八月十九日來萩

來萩中の高島北海壽伯は八月二十日出發歸郷

大阪市内實業家を以て組織せる大阪旅行クラブ團三  
百名は史蹟見學の爲八月二十日來萩

山口聯隊區司令官中村陸軍大佐は簡閱點呼視察並新  
任挨拶の爲八月二十一日來萩

原口第五師團長は簡閱點呼視察の爲八月二十二日來萩

代議士阪本一角、津雲國利、藤井達也諸氏は田中、久原前兩相訪問の爲。下關運輸事務所長武井明道氏は管内巡視の爲、福岡縣女子專門學校教授鈴木暢幸氏は史蹟見學の爲、萩製糸株式會社社長賀田以武氏は社務の爲何れも八月二十二日來萩

滞在中の田中男爵並久原前遞信大臣は八月二十三日山口市を経て歸京の途に就かる。

田中、久原前兩相と共に歸萩中の前遞信大臣秘書官藤田包助前内閣囑託北野右一遞信省囑託吉田潤一沖繩縣選出代議士萩町出身竹下文隆の諸氏は田中、久原前兩相と共に八月二十三日出發歸京

前台灣總督府內務局長豐田勝藏氏は八月十七日歸萩滞在中の所八月二十三日田中男爵一行と共に歸京

岩田山口高等學校長は家族と共に八月二十二日當地出發山口市に轉住

下關市梅光女學院院長廣津藤吉氏は基督教義講演の爲横山健堂氏は本縣主催夏季講習會講師として菊池本縣視學官協本縣視學と共に八月二十四日何れも來萩  
安永縣屬は濟生會寄附金募集打合の爲八月二十八日來萩

佐武鐵道省盛岡建設事務所長は轉任挨拶の爲八月二十八日來萩

米山門司鐵道局長以下二十三名は史蹟見學の爲八月三十一日來萩

衛生

◎昭和四年一月以降傳染病患者數

病名	八月中發生數	七月迄發生數	計
腸チブス	一	一七	一八
赤痢	一六	一三	二九
疫痢	九	九	一八
デフテリア	一	三	三
猩紅熱	一	二	三
計	二六	四四	七〇
本年一月以降死亡者	疫痢一六名	赤痢三名	腸チブス三名
計	二二名		

◎萩町立堀内病院入院患者數

一、八月中入院患者數

疑赤痢	四名
赤痢	十二名
疑疫痢	一名
腸チブス	五名
合計	二十二名

◎昭和四年一月以降死亡者埋火葬別

八月	男	四〇	七月	男	一四六	計	一八六
	女	四六		女	一四九		一九五
中	男	八六	迄	男	二九五	計	三八一
	女	一六		女	六三		七九
計	男	一二二	計	男	一〇六	計	一四二
	女	三六		女	一〇六		二一三
合計		一五八	合計		三六七	合計	五二二

◎蛔虫の暴虐は温暖な地方に多いのは五歳から十五歳まで

内務省の統計によれば蛔虫の寄生を受けるのは寒い國よりも暖かい地方に、都會居住者よりも農村生活者に多いことがわかります、都會は百人中三十七人田舎では百人中六十六人といふ状態を呈してをります、蛔虫に寄生されやすいのは五歳から十五歳迄が大部分を占めてをりますが山麓農村では六十迄全体的に多く、平地農村では五歳以下と十五歳以上とはやゝ少いそれでも都會居住者のそれよりも多いのであります蛔虫に寄生されると突然發熱したり、目まひ嘔吐を催し、腹痛が起り、下痢したり、頭痛したりします。なほ高まつた現象としては壁土や炭などを噛みたがります、そして自然發育が悪く、同時に

學校の成績も悪くなりやすいものであります。蛔虫の卵は大概三週間位で小虫になりますますがその時はまだ卵殻の中にをりそれが食物と同時に腸内に入つて殻を破つて出て小腸に寄生するものが大部分でなほ肺臓や肝臓或ひは氣管を経て咽喉に出で再び腸に下るものであります、蛔虫はその間五六週間のうちに親虫となりて腸内の榮養分をすひとつて盛んに卵を産むのであります、それが大便と一所に排泄されます、油菜類には人糞が使用されるので自然その媒介をなすことになるのであります。蛔虫の寄生を防ぐにはなるべく生の野菜をたべないのに限ります一夜漬や生漬など禁物です、料理する時には野菜類は莖の中側迄よく洗ふ必要があります、生水に蛔虫卵が入つてゐる場合もあります。

人事

◎戸籍と身分關係 (其の十五)

復籍拒絶

復籍拒絶とは法定の原因ありて實家に復籍すべきときに於て家族たる身分の取得を拒絶する意思表示である即ち戸主が家族の離婚又は離縁に依り實家に復すべき場合之を防止することを目的とする行爲を云ふのである

戸籍法第四百十一條に戸主が其の家族たりし者の復籍を拒まんと欲するときは左の事項を記載して其の旨を届出つることを要す

- 一、復籍を拒まるべき者の氏名及本籍
- 二、復籍を拒まるべき者が家族たるときは戸主の氏名
- 三、復籍拒絶の原因

戸主が其の家族の復籍拒絶を爲し得べき場合は民法第七百四十一條全法第七百五十條に規定してある

- 一、家族が戸主の同意を得ずして婚姻又は養子縁組を爲し他家に入りたるときは婚姻又は養子縁組

の日より一ヶ年内に復籍拒絶を爲すことが出来る  
二、家族が婚姻又は養子縁組に依り他家に入りたる後婚家養家又は實家の戸主の同意を受くることなく更に婚姻又は養子縁組に依り他家に入りたるときは同意を爲さざりし戸主は婚姻又は養子縁組のありたる日より一ヶ年内に復籍拒絶を爲すことが出来る  
以上の場合は何れも戸主に於て復籍拒絶を爲すことが出来るけれども其の届出に依る意思表示は家族の離婚又は離縁以前なることを要し一旦離婚離縁等ありたるときは其の家族は實家に復籍するに至るを以て復籍後は之を拒絶すること能はざるや明かである  
戸籍法第四百十二條に依り復籍拒絶又は復籍すべき家の廢絶に因つて一家を創立したる者が縁組若は婚姻の取消又は離縁或は離婚の届書に其の場所を記載せざりしときは一家創立の事實を知りたる日より十日内に其の届出をせねばならぬ其の届書には左の事項を記載することを要す  
一、復籍拒絶者又は廢絶家の戸主の氏名及本籍  
二、復籍拒絶の原因及年月日又は廢絶の年月日



●萩町の人口動態

八月	婚姻	離婚	出生	死亡	死産
中	三四	八	八九	一三九	三
一月以降累計	三八四	五一	九一三	六九五	二五

◎八月中の寄留

	男	女	計	一月以降累計
出寄留者	三二人	三四人	六六人	九二〇人
入寄留者	一四人	一四人	二八人	四一三人
復歸者	一人	五人	六人	九一人
退去者	四人	三人	七人	一一七人

◎受刑者

萩町に本籍を有する者にして關係司法裁判所より受刑の通知を受けたる者左の如し

昭和四年八月中

罪名	萩町に居住する者	萩町に居住せざる者	計	一月以前年の八月迄の累計
賭博	1	1	2	1
詐欺	1	1	2	1
横領	1	1	2	1
竊盗	1	1	2	1
機船底曳網漁業取締規則違反	1	1	2	1
出版法違反	1	1	2	1
飲食物防腐劑取締規則違反	1	1	2	1
住居侵入竊盜	1	1	2	1
傷害	1	1	2	1
殺人	1	1	2	1
失火	1	1	2	1
阿片煙販賣	1	1	2	1
銃砲火藥取締法違反	1	1	2	1
賣藥法違反	1	1	2	1
陸軍々人服役令施行規則違反	1	1	2	1

- 暴力行為等處罰違反
- 自動車取締令違反
- 議員選舉法違反
- 印紙税法違反
- 要塞地帶法違反
- 業務上過失致死
- 嬰兒殺

1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

罪名	萩町に居住する者	萩町に居住せざる者	計	一月以前年の八月迄の累計
贓物牙法	1	1	2	1
山口縣警察犯處罰令違反	1	1	2	1
按摩術營業取締規則違反	1	1	2	1
牛乳營業取締規則違反	1	1	2	1
郵便法違反	1	1	2	1

雜事

◎飛行機上より萩市街を撮影

平安古町在住羽仁海軍大佐の斡旋に依り先般海軍演習の爲大津郡油谷灣に淀泊中の帝國軍艦山城艦長を煩はし海軍水上飛行機上より當町明倫小學校を中心とせる空中寫眞を撮影したる所今回同大佐の手を經其の原版を送致せられたり

◎假面を被る平和の使者

ツ伯號飛來の裏面、眞？疑？

(國本新聞より轉載)

平和の使者、交通文化の先驅として今回訪日したツエツペリン伯號の世界一周の壯舉に對し國民學つて熱狂振りの歡迎を示し、興奮讚嘆の誠を捧げてゐる

が、此のツ伯號來朝の眞意が果して平和の使者のそれであるか否か、一部識者の間に、この人類史上空前の大壯舉に深い疑惑の眼の注がれてゐる。先づ疑問の点はツエ伯號が世界一周の壯舉に要する莫大なる資金が全部先年全北米の排日を煽つたハースト系新聞團の出資するところであり、更に重大問題は米國のツエツペリン會社及び船長エツケナー買收説の眞實化である、又エツケナー博士は世界一周成功後米國レークハーストで下船し米國の重大商議にあづかるこの説、更にまた此度のツエ伯號世界一周には米國現役將校が三名外に紐育市の百萬長者ウイリヤム、ビー、リーツ氏等米國人が多數乗込んでゐること等々を綜合するとき、今回のツエ伯號の世界一周の裏に動く黒い魔の手は、口に平和を唱へながら着々として第二の世界戦争に備へつゝある某國軍部の意志に外ならないといふのが識者の冷靜な觀測である、右につき關係當局者は語る

此度のツエ伯號は某國の世界航空路の偵察でないど誰が極言できよう、若しかゝる目的を持つた者に何の防禦設備もない日本の上空から帝都の上まで

で飛ばせるとは實に危険な話である、何しろツエ伯號の大圏航路シベリアにしろ北平洋にしろ無人の航路を経験しておいて、いざ緩急の場合そつと忍んで來て襲撃されたら堪まるものではない。殊にこの度主となつて操縦してゐる第一船長のレマンといふ男は歐洲大戰中ロンドンの空から何十回となく爆彈を投下殺戮の血の味を知つてゐる奴でこの男もまた某國に買收されてゐるのであるから今回の來訪に國民舉つて熱狂歡迎してゐる日本人の淺幕さが憂慮されるところ。

● 感謝

- ◎田中義一男爵は過般歸郷せられたる際本町立各學校圖書館に對し皇幹臣枝並に世界興亡一覽の軸物を寄贈せられたるが更に八月十六日同附録の書冊をも送り越されたり其の厚意を感謝す
- ◎八月二十七日防長紙同業組合より防長透紙史一部を寄贈せらるる其の厚意を感謝す
- ◎今回山口縣電氣局糟谷局長より、縣營電氣事業創

問さる

- 門司鐵道局旅客掛藤井康二氏來廳
- 林町長は田中男爵一行と共に大津郡三隅村野波瀬及仙崎町方面に向ひ即日歸廳
- 十二日 午前九時より町衙に於て本郡町村長集會開催正午より町村長一同は田中男爵久原前遞相を川島醉月亭に迎へ歡迎會開催
- 二十一日 久原前遞相は午後七時より町公會堂に於て町内外有志六百余名の爲招待會を催さる
- 二十七日 午前十時より萩警察署竣工式舉行に付金子助役列席
- 二十九日 午前九時より町公會堂に於て農業調査員集會開催
- 三十日 昭和四年度徴兵抽籤立會の爲金子助役出山即日歸廳

● 「酒なし日」

財團法人日本國民禁酒同盟理事長の計劃を是認し文部省社會教育局長より勸奨し來れる主要事項左の如

創立五週年記念として事業の沿革並に既往の經過を略記せる事業誌を寄贈せられたり、其の厚意を感謝す

◎本町秋山貞一氏は南古萩區内道路敷地として畑地五合を寄附せられたるに依り八月三十日の町會に於て之を受理することに議決せり其の厚意を感謝す

◎八月中萩町日誌

(本月報中登載外のもの)

- 五日 午前九時より町衙に於て在郷軍人萩町聯合分會の委員會及新川岩盤掘鑿に關する關係者の打合會を開催
- 六日 久原前遞相は阿北巡視の歸途越ヶ濱明神池及笠山を視察
- 七日 田中男爵は午後七時より同別邸に於て町會議員町長助役收入役其の他の各夫妻を招待し夜宴を催さる。
- 十日 福田陸軍中將歸郷に付き林町長を町衙に訪

し。

「酒なし日」の計畫

一、酒なし日の趣旨  
 九月一日大震災火災記念日に當り横死犠牲者の冥福を祈ると共に國民精神の緊張を策する爲一日四百萬圓の巨費を費しつゝある酒類の飲用を慎み國民的反省の實を擧げ以て良風の作興に資せんとす。今や經濟國難打開の爲國を擧げて消費節約を要すべきの秋前五回實施の結果最も成績良かりし斯の「酒なし日」を茲に一層の熱誠を以て舉行せんとする所以なり。

- 二、酒なし日舉行期日 昭和四年九月一日
  - 三、酒なし日舉行範圍 全國一齊
  - 四、酒なし日の主催者 官民協力
- 道府縣學務部社會課社會事業協會社會事業團體、宗教團體教化團體教育會婦人團體青年團少年團軍人會其他公共團體學校新聞及一般有志を網羅せる聯合委員會を組織し官民一致之に當る
- 五、酒なし日の行事と方法
- 一、九月一日に行はるべき公的會合に酒を用ひざ

諸君のこと

- 二、各個人相戒めて飲酒を慎むこと
- 三、印刷物配布ポスター掲示等によりて趣旨の徹底を計ること
- 四、講演會活動寫真路傍演說行列其の他の催し事により趣旨の徹底に努むること
- 五、ラジオ放送映畫演劇の幕間を利用して趣旨を普及すること
- 六、新聞雜誌に趣旨及び報導の記載を依頼すること
- 七、各學校長より學生生徒に訓辭を爲し趣旨の徹底を計るやう協力を求むること
- 八、禁酒村の創設、禁酒會の設立發會を勸誘獎勵すること

● 昨年の今月今日

- 一日 郷社住吉神社例祭に付林町長參向
- 二日 改選後の初町會開催、閉會後全町會議員は春日神社に於ける當選就職の奉告祭に參列

二十五日 町會開催

二十六日 林町長は町内の産業並土木に關する施設を巡視

二十九日 日本漁網船具株式會社高橋工場主任は午前越ヶ濱午後町公會堂に於て漁網に關し講演を行ふ

三十一日 輸出貨物蒐集の件に付美禰大津阿武各郡の産業團體主事を招致し懇談會開催

本縣發行「史蹟名勝天然紀念物

調査報告摘要」中より拔萃

● 夏蜜柑原樹

指定年月日 昭和二年四月 日

所在地 大津郡仙崎町大日比

本邦固有の柑橘類は橘の一種類にして其の他は概して南清を根源とするものなるが如く、夏蜜柑の根源地も亦た南清なりと云ふ。支那の東方を北に向つて流るゝ暖流は朝鮮海峽を経て日本海に入るが故に大津郡及見島の海岸等には往々熱帶草木の漂着するを

- 本日より向ふ三日間明倫小學校々庭に於て當町在郷軍人の陸軍簡閱點呼執行
- 三日 町衙に於て島谷汽船寄港地のことに付協議會開催
- 四日 繼續町會開催
- 六日 繼續町會開催
- 七日 本日より十日間椿西小學校に於て本縣山林會江山技手を講師とし町設杉磨丸太製造講習會開催
- 八日 白水小學校に於て山田三見在郷軍人の陸軍簡閱點呼執行
- 明倫小學校講堂に於て郡教育會總會開催
- 十四日 町公會堂に於て防長學生聯盟の講演並映畫會開催
- 十六日 町公會堂に於て電話増設抽籤執行
- 二十一日 本日より三十日まで町公會堂に於て船舶職員試験を執行
- 二十二日 國際通運株式會社下關支店長北村氏並朝鮮郵船株式會社員吉村氏寄港地打合の爲來應

見ることあり、見島村刊行の乾島誌に依るに同地海岸には屢々椰子實の漂着することありと云ふ。夏蜜柑の原果も暖流に依りて大日比の海岸に漂着せしものなるべし。

現存する夏蜜柑原樹は安永の初年大日比の海岸に珍果一個漂着せるを該樹所有者なる西本氏の祖先ちようなる女子之を拾ひて種子を蒔付けたるもの、發芽成育したるものにして該樹は弘化四年家屋改築の際に工事の妨となること少なからずとして根元より二尺五寸の所にて伐り去りたるものより二本發芽したる爲め今は幹二本となり樹高十八尺、枝張り四坪にして明治二三年頃より十二三年間連續萩地方の需要に應じ接穂として新芽を剪截せると老衰の結果今は極めて貧弱なる樹貌となれるも尙ほ年々數十個を着果す。

初め同地にては之を宇樹橋と呼び何人も食用に供したるものなく兒童が毬の代用品として遊戯に用ひたるに過ぎず然るに其の後ち該果は夏期徑二三寸となり果漿に富み酸味強ければ會々食醋の代用となすに足ることを識り茲に用途を認めらるゝに至り宇樹橋

の名は何時ともなく夏橙と呼ぶに至れり、該地は僻陬地にして日用品を得るに困難なる所なれば各戸食酸自給策として是が栽培に着手するに至れり、其の結果原樹以外に寛政四年、享和二年に發芽せる古樹あり後ち食用に適するを識り夏九年母とも呼ぶに至れり。

夏蜜柑の大産地たる萩は文化の初年江向の檜崎十郎兵衛が大日比より贈られたる果實より得たる種子を播きたるを始めとす、明治の初年廢藩置縣の結果萩の士族は祿を失ひたるより競ふて大日比より接穂を求め庭園と畑地とを分たす所有地一面に該樹を歩培し活路を開きたるものなり。

訂正

二、三頁區長及區長代理者氏名を左の如く訂正す  
南片河町區長代理者を吉澤吉太に、北古萩町二區區長和泉屋阪次郎、區長代理者を松岡豊吉に、東田町二區區長齋藤文吉に、目代區長竹内權藏に、區長代理者溝部權槌に訂正す

現勢  
地圖

三  
五

公 告

萩町で奉仕してゐる庶般事務の概況を廣く皆  
さんにお傳へ致しそしてより良く萩町の現勢  
を理解して戴き町將來の福利増進に資せむが  
爲毎月一回此の月報を發行することゝしたの  
であります又毎號共區長役場の方から皆さん  
のお宅へ回覧の取扱ひをされますから其の際  
は萩町の爲進むで御精覽の上成るべく早くお  
隣りへ御廻しを願ひます  
尙ほ印刷實費一ヶ年分金貳圓拾六錢を御納め  
になれば別に此の月報をお配りすることゝし  
ておりますから其の旨を萩町役場又は區長役  
場まで御申出下さいませ

萩町庶務課

昭和四年九月十三日印刷  
昭和四年九月十五日發行

編輯兼發行者 萩町長 林 勇 輔

山口縣阿武郡萩町大字西田町五十五番地

印刷者 荒瀬 徳 治

山口縣阿武郡萩町大字西田町五十五番地

印刷所 信清舎印刷所